

月詠さんが
かたし本も
さしやう話



前書き

どうも、ホリエです。

最近のエロ漫画もほとんど書いておらず、
わびしい貯えを日々無駄に減らすだけのぐう
たらな毎日を送っていました。

そんで貯えも随分と心細い額まですり減って
しまいましたので、なんとか当座を凌ごうとゆう
思惑で久しぶりに同人描いてみました。

まあ以前から「銀魂の月詠はやたらえろい」と
方々でのたまわっていたので、時期が良いと言え
ば良いのでしょう。

むしろ月詠に対する愛だけが原動力と断言し
ても過言ではない気がしてきました。

そんで、どうせ同人描くなら後学の為にデジ
タル作画してみっかと一念発起してみたものの、
ペン入れ五分で挫折。仕上げだけデジタルとゆう妥
協なくファイト。

いろんなサイト見てみると、「デジタル便利す
ぎ！」とか「デジタル超早い！」とか「もうアナ
ログに戻れない！」なんつ一文句が並んでいたの
で、疑いなく自分のバラ色の未来を描いていたら、
「間違いなくアナログの方が3倍早い」とゆう結
論に5ページ目で達したものの、愛と気合と根性
でなんとか最後までやりきる事が出来ました。

とりあえず「パワーストーンのお陰で毎日がバ
ラ色」やアグオスの霊芝に騙される人間の気持ち
が少しわかったので良しとしておく他にない。

今までフォトショの5.5でやっていたのをイラス
タに変えたのですが、これが超便利。

データ軽いわ、ツール便利だわで、10年の技術
差を思い知りました。すごい。

ただフルカラーで作業する時の色選択関連の操
作で欠陥があるっぽいのが玉に傷ですが。

特にCMYKスケールでの不具合は商業でやる際
には致命的な欠陥になり得るので、どうにか改善し
て欲しいです。

製本したモノをしてみるまではなんとも言えま
せんが、作業中にもいろいろ発見があり、技術的
にもかなり上がっている実感があるので、金と時
間に余裕があれば次も作ってみたいと思います。

しかし、デジタルでアナログより早く出来る人
って一体どうやってるかが謎過ぎる。
パソコンにサイコミュ搭載してないと無理じゃな
いか？とゆうレベル。

もしくはウメショーリューが出せる反射神経。

最後に宣伝。

今回の同人で興味を持たれた方、ティーアイネ
ットより単行本が2冊出てますんで買うと良いこ
とあるかもしれないです。主に私が。

神よ！我に不労所得を与えたまえ！





吉原警備隊
百華頭領
月詠

この吉原が
変わっても
相変わらず
いい女だ

オレあずつと
あんたの事を
見ていたんだぜ

待ってるよ
もうすぐ
あんたあ
オレのもんだ



月詠さんで
ございますね



確か
ぬしは…

晴太に預かった
金はしっかり返した
のでありんすか

こりゃあ耳が痛い
ご存知でしたか…

^^…



消えなんし

わっちはぬしの
ような輩は
好きじゃありんせん

そう
仰らずに

ちよっとお見せ
したいモンが
ありましてね

苦労して
手に入れた
写真でしてね

!



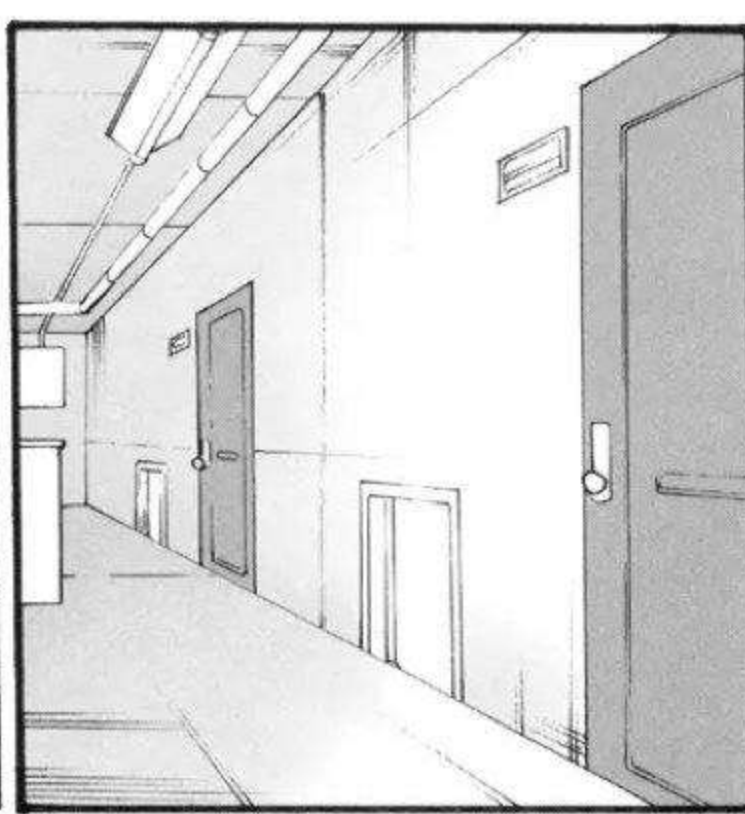
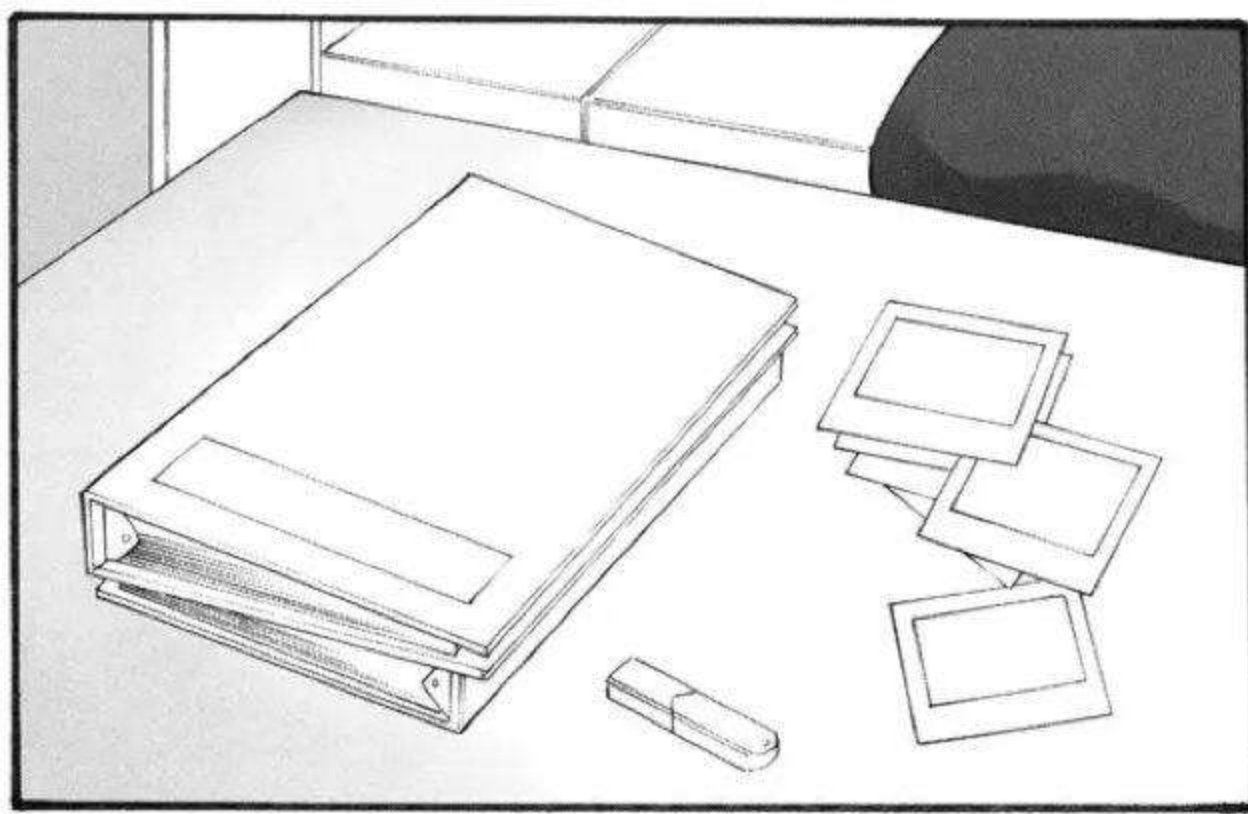
この往来じゃあ
人目に付いて
お互い良くない
でしょう

ちよつと私の
事務所まで
来てくれ
ませんかね

.....!!



ねえ
月詠さん





どうですか？

そこにはあんたが
隠したい事が
書かれているのだろ



鳳仙が作った吉原の掟

守る為に行った
日の下に出しちゃ
いけねえ仕事の数々

恐れ入りましたよ
人間がこんなにも
惨い事が出来る
だなんてねえ

忘れちゃあ
いないでしょう？
昔話でもないし



犯した罪を
背負う覚悟は
出来てんす

違うよ月詠さん
そうじゃない

あんたコレを
見られて困る
人がいるよね
例えば…

？



万事屋の
ダンナとか



やめて下せえ
昔の吉原じゃあ
あるまいし

いくらあんたでも
人一人ぶっ殺したら
タダじゃ済まないよ

それにあんたあ
他人の為に殺せても
自分の為には殺せない
人間だあ

.....

何が目当てで
ありんすか...

なあに
ちつと我慢して
くれれば済む

書類は全て
あんたに渡す

その変わり...





っ…
奇特な男で
ありんすね

吉原なら他に
いくらでも女が
買えように

わざわざわっちに
目をつけるなんざ

ぎゃ

っ…

あんたあ
気付いて
ないだろうが

あ

高慢な態度に
むしやぶりつき
たくなるような
肢体

んっ…

男なら誰でも
よがらせてみてえと
思うもんだぜ

んっ…

くっ…



遠慮なく声をあげて
いいんですぜ

防音はそれなりに
効いているんでね

はあ

はあ

誰がつ……!

この男……
随分ねちっこく
責めてくれるっ……

しかし何故だ?
この甘い……

はあ

痺れるような
……香?

はあ



きゅんっ!

……っ!
なんだ てっきり
オレだけが楽しんで
いるのかと思ったら

どうやら
まんざらでも
ないみたいですね

さ
次は下を
捲くり上げて
もらいましょうか



眼福眼福
まさかこんな
間近で拝めるたあ

これで……
満足でありんすか



何を……
そんな事は
ありんせん

おや？下着が
湿ってませんか？



それなら
確かめさせて
もらわねえと

^^……



……
んっ！



んっ

んっ

んっ…
くう…

気色の悪い
動きをしなんせ
……っ
んっ

おっかしいな
やっぱり
湿ってませんかねえ

ふんっ…
自分の汗とでも
勘違いしてるんで
ありんしょ…

はあ

んっ…!

なら
もっと確実に
調べましょうか

はあ

はあ

それじゃあ
指突っ込むんで
片足上げて股あ
おっぴろげて下さい

ここまで
させて……
約束はちゃんと
守って……

あっ！

なっ……！！

うっ……

あっ……

やっぱり
濡れてる気が
するなあー

んっ

あ
しゅ

く
しゅ

いやだなあ
そんなに私が信用
出来ませんか？

び
く
ん

あっ……！

勝手に……指を
挿れるなあ……っ！

んっ

っ……！！
バカも……っ……
大概にしなんせ……！！



おかしいなあ
もう肘まで
滴ってきているん
ですけどねえー

んっ

ビュッ

んっ……!

そんなの……っ

んっ!

気のせいで
ありんしょ……!

んっ

うんっ

ビュッ



んっ

くそう……
こんなっ……
こんな輩に!

んっ

んっ

なんで……
こんな……



音
聞こえて
ますよね?

あっ

あっ

流石にもう
言い訳が
苦しいでしょ

ぐちゃ



やあつ……！

だめだつ……
見るなあ……！

びくん？！

フー
チュ

フー
チュ

あつ……！
あああつ……！



なあんだ
やっぱり気持ちよく
なってるじゃないですか

はっ

ニチャ

はっ

……っ！

ぬる





あんっ

あっ
あっ

あっ！

いくい具合だあ
たまらんですぜえ
月詠さん



あっ！
オレの一物で
こんな喜んで
くれるたあ
何よりですぜ

……
誰がっ！

自惚れるなあ
……んっ！

あんっ！

啜え込んで
離してくれねえ
こいつは大した
まんこですぜ

あっ

おっ
おっ
おっ

おぬしっ…
どこまでも…

あっ

おっ
おっ
おっ

あんっ

おっ
おっ
おっ

はあっ

はあっ

ぬ
ぬ
ぬ

ぬ
ぬ
ぬ

駄目だ…
このままでは…

はあっ

はあっ

ぬ
ぬ
ぬ

ぬ
ぬ
ぬ

はあっ



はあっ

はあ

はあ



ああ：

ぢぢぢぢ

ぢぢぢぢ

ぢぢぢぢ

ぢぢぢぢ

あんっ

まだっ……

まだ終わらないんで
ありんすか？



あんっ

あっ

あんまりつれねえ事
言わないで下さいよ

今日は五発は出す
つもりで準備して
きたんですから

ぢぢぢぢ

あっ

ぢぢぢぢ



ふざけるなっ

はあ

はあ

そこまで付き合っ

つれねえ事
言いわないで
下さいよ



ぽんっ

ぽん



ヌッ

やあ...

あんっ

ズキ

折角、月詠さんの
善いところも
わかってきた
頃合ですからね

ああっ

ズキ



ほら
月詠さん

やめ...

ズキ

ズキ

ぬる

体が
馴染んできた
頃合でしょ

あんっ!

あんっ

はああ
ああっ

あんっ

あっ

あっ

へへ：こりやあ
いい按配だあ
もう出しますぜ



あ

……

あ

あ

あ
あ
あ

……

ビクッ

ビクッ

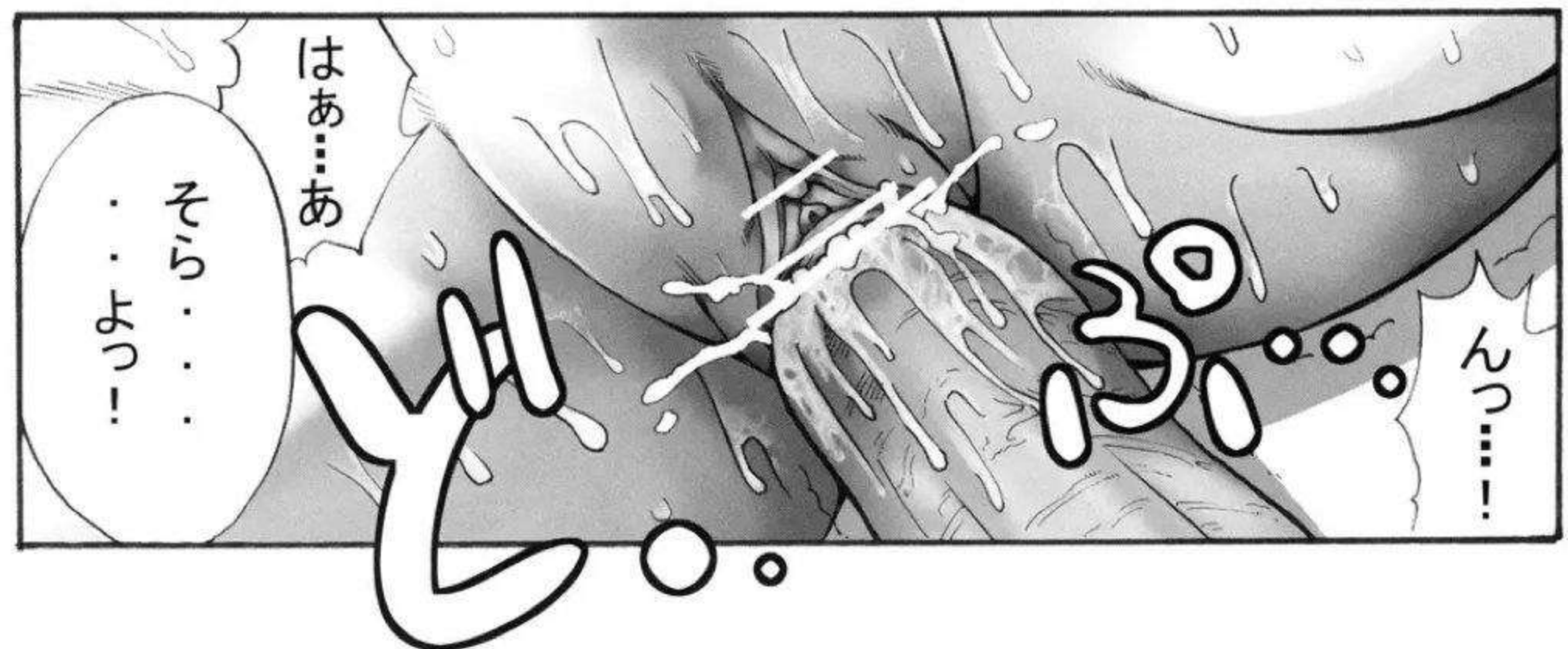
まだまだ
お楽しみは
これからですぜ

とろ

たまらないぜ
月詠さん……

へへ……

……



「のっ……
おぬし……っ

はあーっ

はあーっ

はあーっ

また……
出しおった
……なあ……

はあーっ

はあーっ

ぞろぞろ



そろそろ
オレの女になりたいく
なった頃じゃあ
ありませんかい？

ふざけるなっ！
誰がおぬし
なんぞにつ！

はっ

はっ



んぶっ！

じゅるっ

んん！

んっ！

ズポッ

んっ！

んんっ！

ズポッ



ちんぽに
ヨガリながら
じゃあ説得力が
ありませんぜ

はあ

はあ

はあ

んっ……うっ
やめ……ろおっ



はあ

これでは
この男の思い
通りではないか
...だが何故?...

ぬっ

はあ

どうしようもなく
快楽を感じて
しまうのだっ...!

ぬっ

ぬっ

ぬっ

あぁっ あっ

ズッ

ズッ

こんなっ...

あんっ

あぁっ

こんな
下郎にっ...

へへ...
すっかり女の顔に
なってますぜ
月詠さん



あっ

あっ

あっ

あっ

あっ

あんっ

あっ



あはあっ

あはあっ

あっ

もうだめっ…

満足してくれえ…

あっ…

あはあっ

あはあっ



それは嘘でしょう
あんたの身体は
もっと欲しがって
ますぜ

あはあっ

あはあっ

あはあっ

あはあっ

あはあっ

そんな事っ…

あはあっ

あはあっ

たまらんぜ
月詠さん

あーっ
あーっ

あーっ
あーっ

あっ

あーっ
あーっ

あっ

あーっ
あーっ

もう一発っ
中に出して
やるっ……!!

あっ

ズッ
ズッ

ああ……
やめろ……

あーっ
あーっ

もう……っ
出すなあ……

ズッ
ズッ

あーっ
あーっ

ズッ
ズッ

やあっ

ああん

ズッ
ズッ



つれないですよ
月詠さん

もう少し
ゆっくりして
いけばいいのに

調子に乗らんで
くんなまし！

金輪際
会うことは
ありません！

百華棟梁とも
あろう方が
なんとも素直な
お人だ

これで
終いと本気で
思っているん
ですかね…

バキッ！

奥付

月詠さんがいやらしい事をされてしまう話 (NTR陵辱編)

発効日 2010年10月24日
サークル かつおぶし
著者 ホリエ
印刷 しまや出版 様

メールアドレス
horieug@jn3.so-net.ne.jp

URL <http://2.suk2.tok2.com/user/horix/>

※この本の無断転載、複製、転写
及び18歳未満の方の購入、閲覧を禁じます。

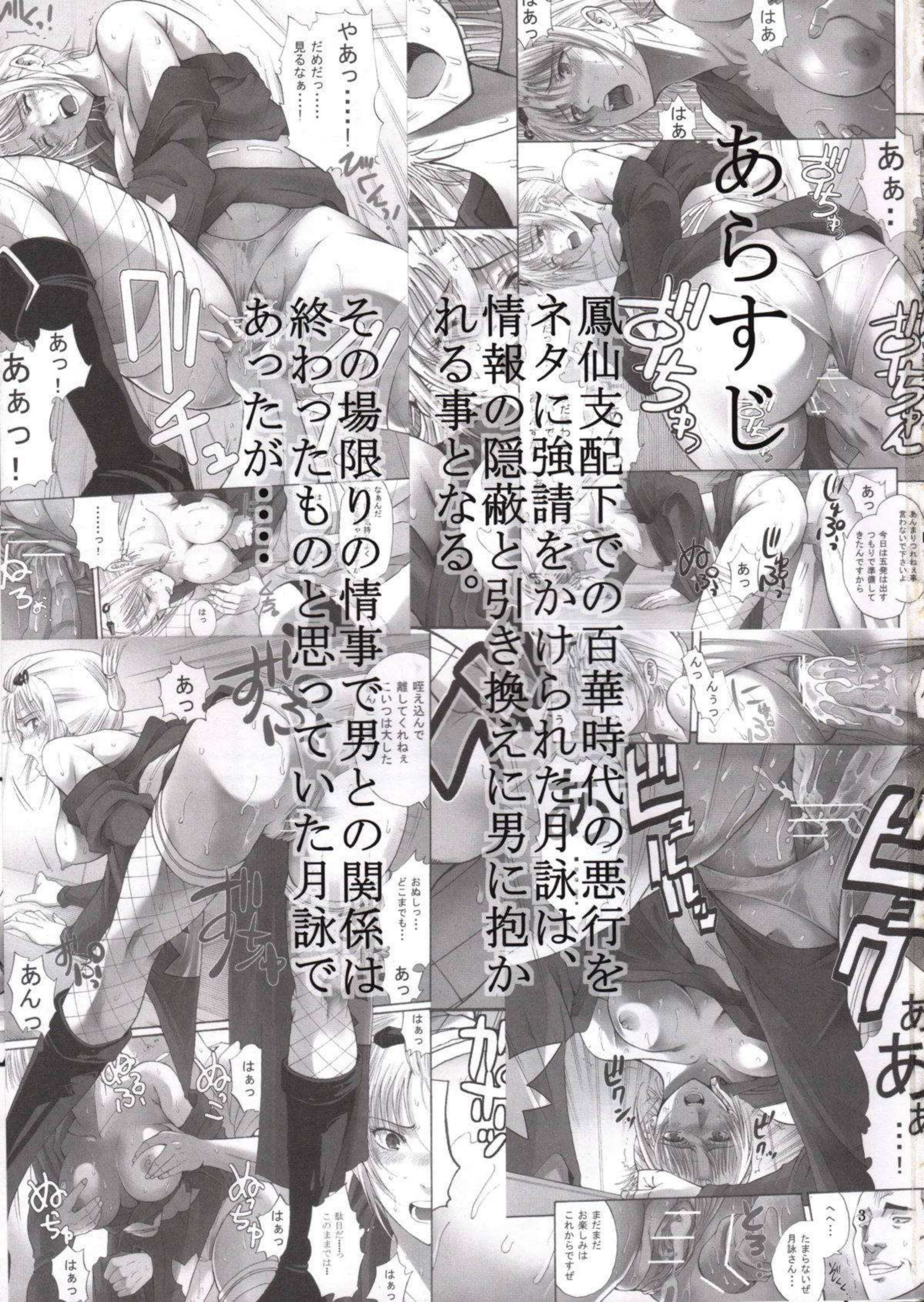
アグネ〇が怒るので。





巨乳が
欲

カチンカチン
かきまわす



あはっすじ

鳳仙支配下での百華時代の悪行を
ネタに強請をかけた月詠は、
情報の隠蔽と引き換えに男に抱か
れる事となる。

その場限りの情事で男との関係は
終わつたものと思つていた月詠で
あつたが……

あはっ
あはっ
あはっ

あはっ！
あはっ！

あはっ
あはっ

あはっ
あはっ

やあっ……！
だめだっ……
見るなあ……

あはっ！

あはっ
あはっ

あはっ

あはっ
あはっ

あはっ
あはっ

あはっ

あはっ

あはっ

あはっ

あはっ

あはっ
あはっ

まだまだ
お楽しみは
これからですぜ

たまらないぜ
月詠さん……

バキザンダ
カキザンダ
カキザンダ

あの男は
また現れた

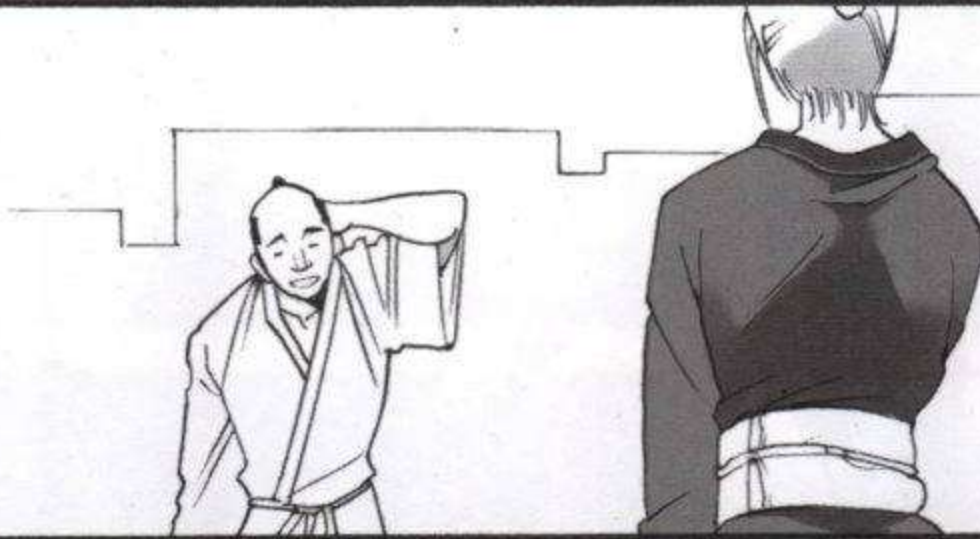


はあ

はあ

はあ

「騙したとは
人聞きが悪い
新しい取引
ですよ」



「以前のアレを
隠し撮りして
ましてね」



はあ

はあ

はあ

はあ

そして
今



わっちは
この姑息で
見下げ果てた
男を睨み付けた

その姑息な男に
抱かれている現実

うあっ……!!

ヒッ
ッ

ヨッ

あっ!

あーっ!!

あっ……
やめっ……!!

ヒッ
ッ

あーっ!!

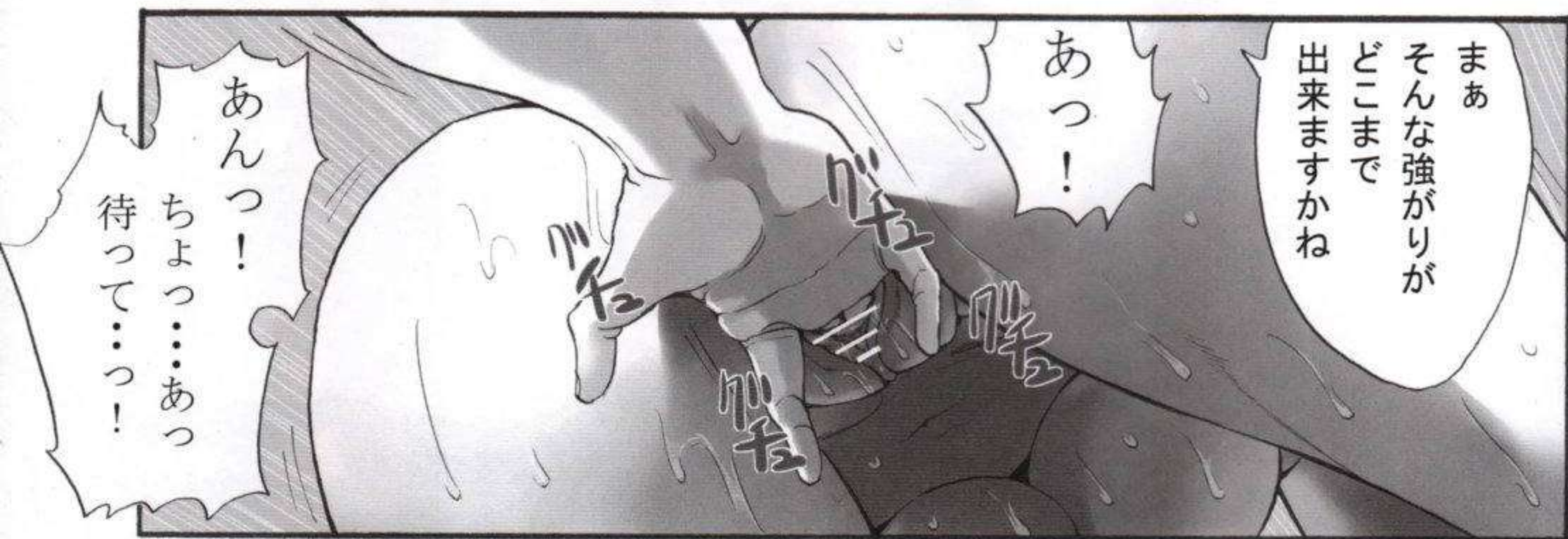


やっぱり
あんたあ
最高の女だ

この体は
売女じゃあ
味わえねえ

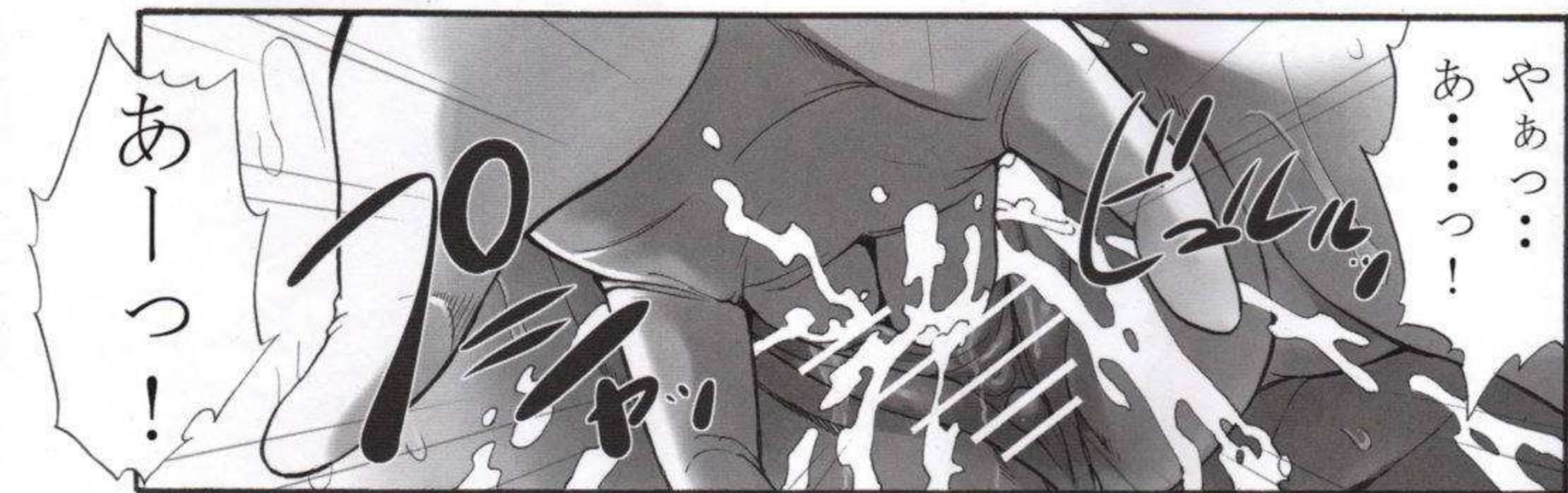
下らん...

さっさと
済ませろ



まあ
そんな強がり
が出てますかね

あんっ!
ちよっ...あっ
待って...っ!



やあっ...
あ...っ!

あーっ!



はあ

はあっ

もう
トロトロだ

はあ



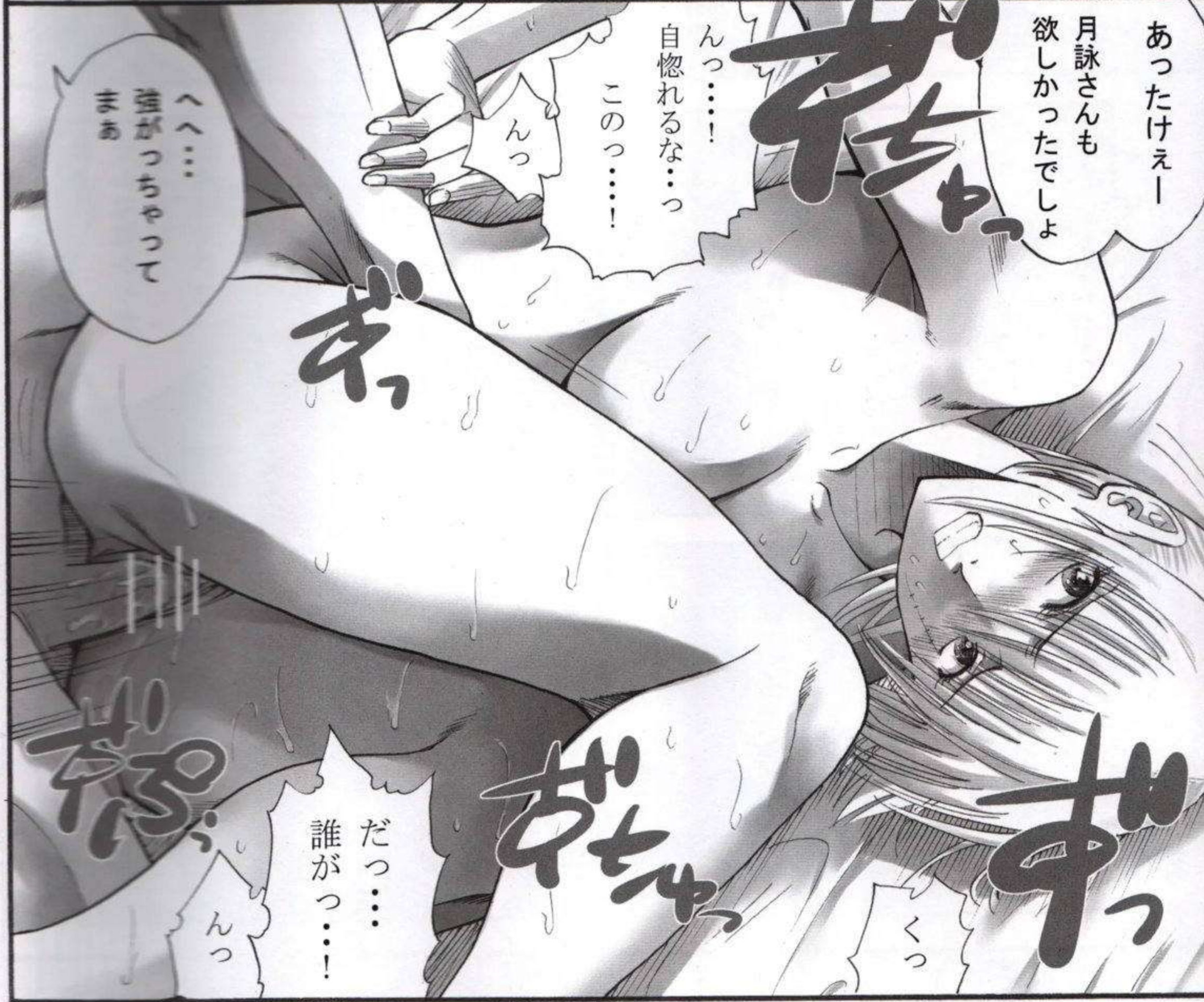
んっ……

それじゃあ
お待ちかね……



んっ……!

びん



あつたけえー
月詠さんも
欲しかったでしょ

だっ

んっ……!
自惚れるな……

このっ……!

おっ

おっ

だっ……
誰がっ……!

くく……
おっおっおっおっ
おっ

おっ

おっ



つれないなあ
一番に楽しめ
ましたっ
月詠さん

おっ

んっ
うんっ

んっ

んっ

んっ

おっ



んんっ！

最悪の
気分じゃ...

んっ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

はあ

あつ

早くっ...
終わって
しまえっ...!

なら
膣に出しても
良いですかね

なっ！

だめっ...
...んんっ！

あつ

あつ

あつ

だめに...
決まって
おろうがっ！

んっ

生でやってるし
同じような
もんですよね

あん

やつ

あつ

ふざっ...
けるなっ！

あんっ！
全然...んっ
違うっ...!



こんなにもんこ
又メラしてる
月詠さんが悪いや

気持ち良い
ったらねえや

ぬっ

ぬっ

はあ

はあっ

はあっ

ぬ

はあ

はあ

そんなのっ
……んっ!

そんなのっ
わっちは
知らぬ:っ

あっ



もう
我慢出来ねえや
出しますぜ

あっ

ぽん

ぽん

ぽん

あっ……
待て……っ!

だめっ……
やあ……
あっ

ぽん

ぽん

あっ



やめっ……

やめると
言ってる
だろうに!

やっ

あっ!



出て……っ！
中に出ておるっ……
ではないか……っ！

あっ……やっ……！

あっ！

ああっ！

あ……

あ……

やっ……！



うの……

はあ

はあ

はあ

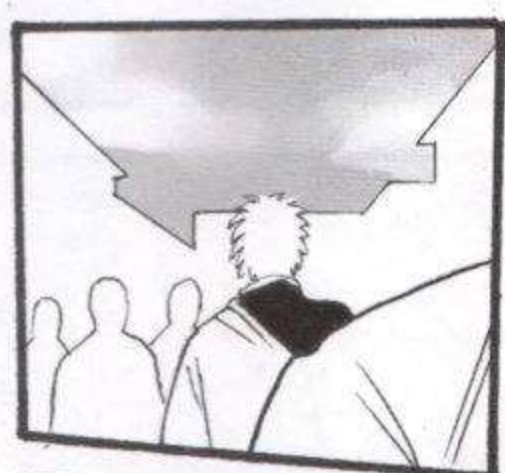
痴れ者が……



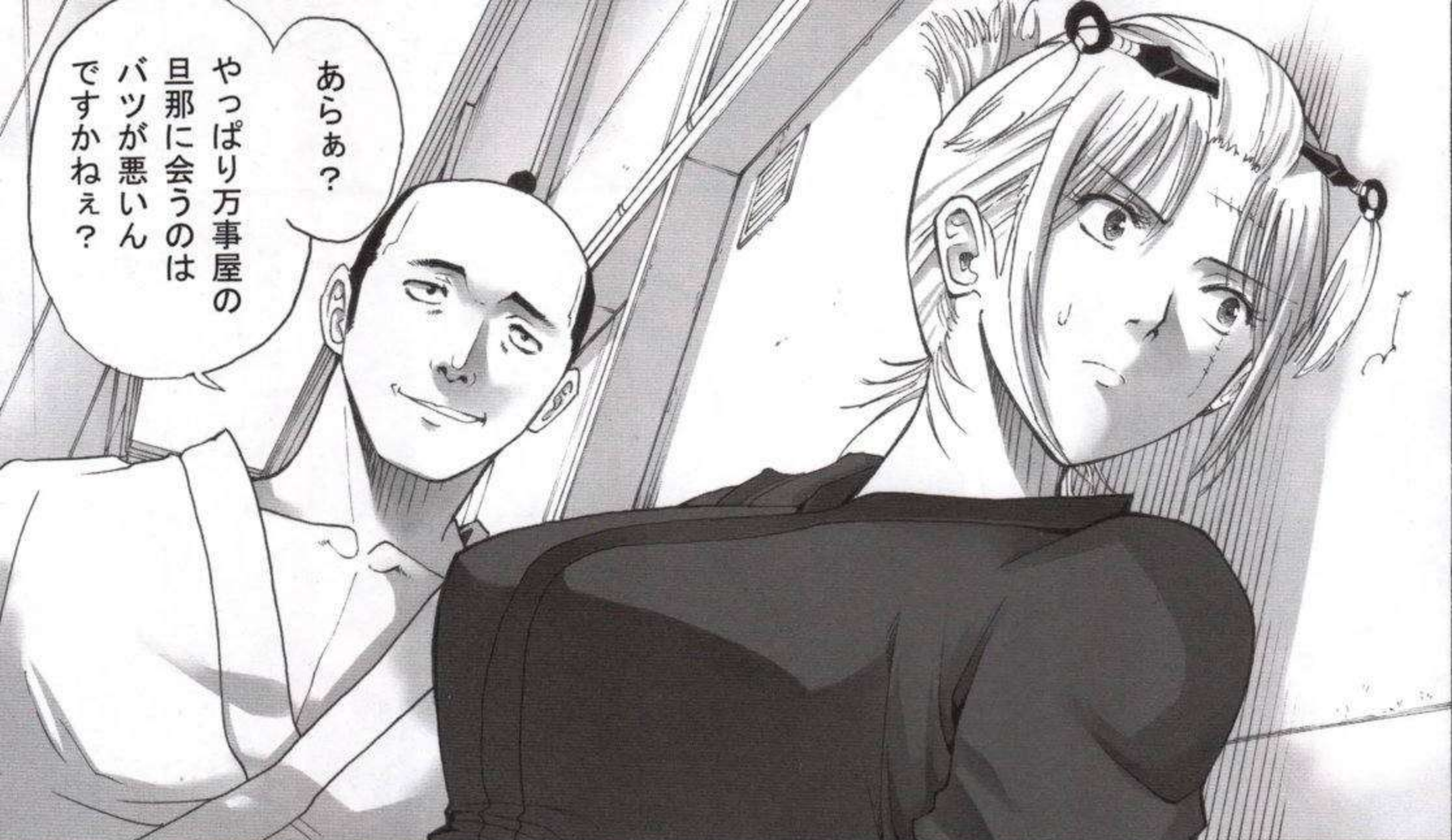
はあ...

あんな下衆に
いいように
弄ばれて...

万一余人の
知る所になれば
わっちは...



はあ



あらあ？

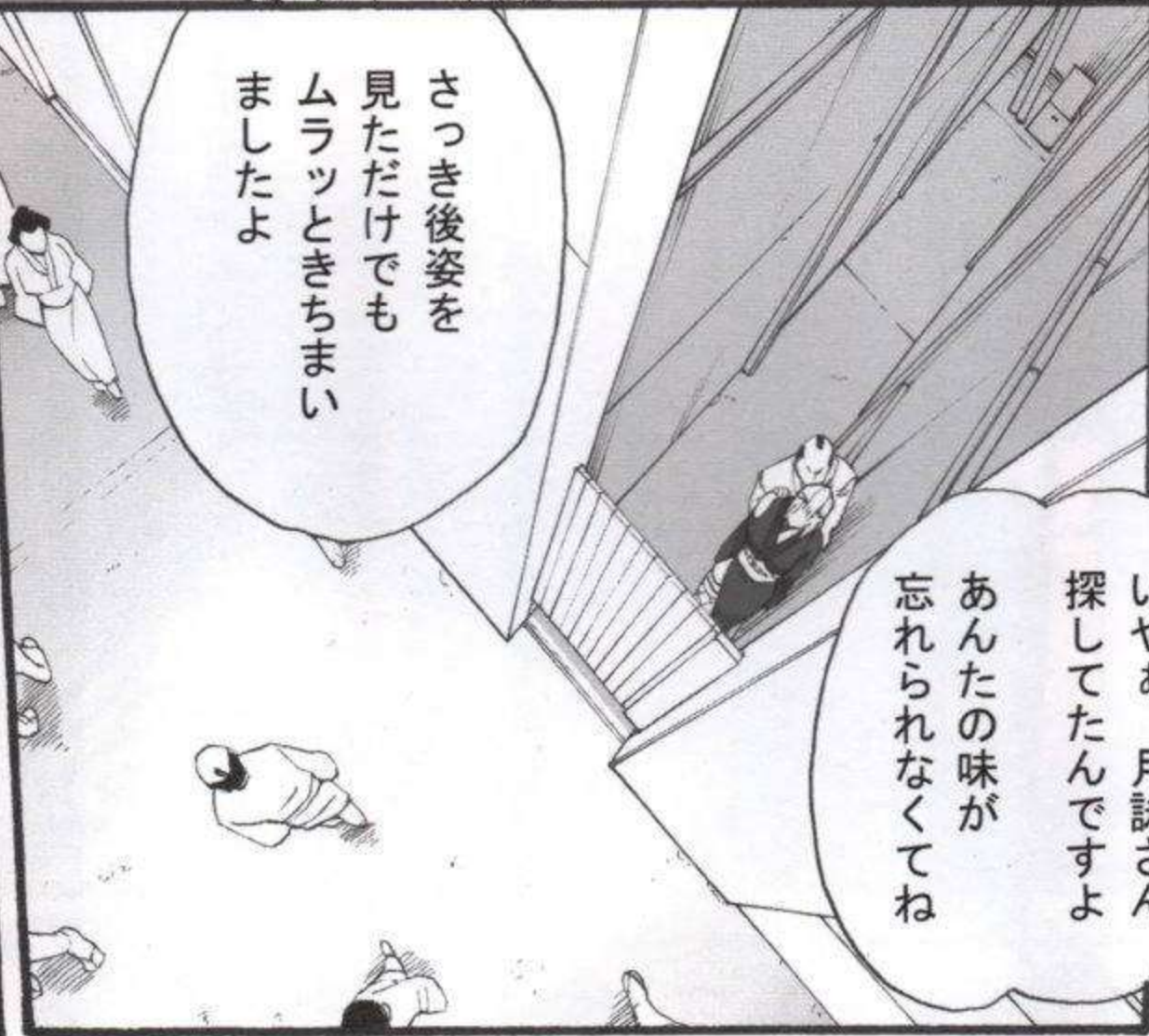
やっぱり万事屋の
旦那に会うのは
バツが悪いん
ですかねえ？



貴様…



っっ！



さつき後姿を
見ただけでも
ムラツときちまい
ましたよ

いやあ 月詠さん
探してたんですよ
あんたの味が
忘れられなくてね



ぬしは何か
勘違いして
おらぬか？

今はわつちを脅す
ネタも何もない
ぬしを五体満足で
帰すと思うてか？



まほ



なっ……!

あつん!



……っ!

万事屋の旦那が
駆けつけるやも
しれませんぜ



あつしに
悲鳴でも
上げさせて
みますかい?

ぬしっ……!



もっとも
それ以前に
人に見つかったら
問題ですがね

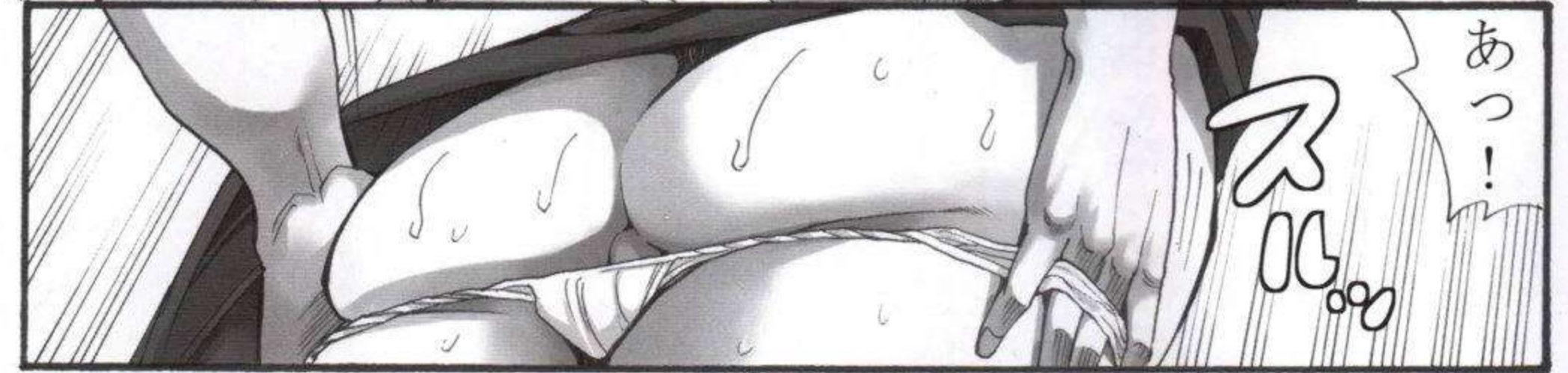
んっ
んっ

吉原の噂は
冬の火事より
広がるのが早え

おっ

んっ

すす



あっ!

スッ



どうしました？

五体満足で
帰さないんじゃ
なかったんですか？

んっ
すす

まただ…
またこれだ

こうして
嵌められて
弄ばれる

下衆な愛撫が
わっちの身体を
隈なく騷り
尽くしていく

はあ

はあ

はあ

はあ

わかっていながら
術中に陥って
しまう…
屈辱…っ

はあ

はあ

はあ

身体がつ…
火照る…

くっ
はっ

あっ…

こんな男に
どうして…



ぬしが乱暴にするから……

あつ

あつ

でも
そうゆうのが
好きなんですよ

あつ

はあつ

そんな
わけがっ……

あるかあつ……

あつ

あつ

あつ

あつ

あんつ

あつ



うんっ
んっ

んっ

んっ

んっ



へへ……

児戯の割には
濡れてきて
ますぜ

んっ

違っ……!
これは……

くっ……
んっ

そろそろ
あつしの女に
なっても良い頃じゃ
ありませんか？

調子に…
乗るなっ…

いつかその
喉笛を掻き
切ってやる…

うんっ
うんっ

んっ
んっ
んっ

んっ
んっ
んっ

顔を…んっ…
寄せるなっ…
この下衆っ…!

うっ…
うるさい!

んっ…
うんっ

チンポ
突っ込まれながら
凄む事もない
でしょうよ



はあ
はあ

ガッ

ガッ

はあ
はあ

あっ

あっ

あっ

そうだ月詠さん
接吻してくれ
ませんか

絡み合うような
濃厚なやつ

はあ

ガッ

んっ…
馬鹿な…

なんでわっちが
そんな事を…

はあ

お互い同意の
事でしょうよ

あんまり
嫌われると
傷つきますぜ



はっ

はっ

……っ！



このっ…
痴れ者めっ…

ムンムン
…っ!

頼みますよ
舐るようにね



やればいい
のだろう

んっ

んっ
ん…

ちゅっ
…



んっ

んっ

ちゅっ

んん

んっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ



んっ

んっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

んん

んっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ



んっ！

んっ

んっ

んっ

んっ

おっ

ふっ

おっ

おっ

おっ

おっ

んっ

おっ

おっ

おっ

おっ

んっ

んっ

ふあっ

あっ

そんなに
求めてくるたあ
オレに気が
あるんですかい？

はっ

ふざっ…

けるなあ

はっ

おまえがっ

やらせたの
だろうにっ…！

はっ



いいんですぜ
素直になって

お互い気持ちよく
なれば得な話じゃ
ありませんか？

ぬんっ…
何を…？

はあ
はあ

んっ
んっ

はあっ

はあっ

はあっ



万事屋の
旦那があんたに
気があるかなんて
わかんねえって
事ですよ

はっ

んっ…！

はっ

はっ



んっ…！

ぬしには…っ
関係ない話で
ありんしょ！

あっ

あんっ
あっ

あっ



あつしらの
相性ときたら
天から与えられた
ようなもんでしように

ねえ
月詠さん

はあ
はあ
知らんっ!!

勝手をつ…
ぬかすな!



あつ!



やあつ
やめ…

ああつ!

あつ!



大体の月詠さんの
ツボは心得たつもり
なんですがねえ

はあ
はあ

……っ!
はあ
何をっ…んっ…
自惚れるな…っ

はあ

どちゃ

はあ

いくらあっしのが
良いからって
声は抑えて下さいよ

ぐんっ

だったら...

ぬしがっ...
やめれば
いいだろうに

あっ

はあ

はあ

んんっ

どちゃ

んんっ

どちゃ

あっ...

んっ...

>>...

あっしのが
良いってのは
否定しないん
ですね

っ...うるさいっ!

どちゃ



こんな男...
虫唾が走るだけ
なのに何故...
こんなにつ...

くうっ...

はあ

はあ

はあ

はあ



ど

ど

ふう

はあ

ど

ふう

はあ

ど

まあでも
月詠さんを大声で
よがらせるのも
面白そうですねえ

あ
あ
あ

はあ

誰がっ…

んっ…ぬし
如きに…っ

そうですかね？
案外簡単かも
しれませんが

ふん…

出来もしない
クセに…んっ…
口だけは
達者だな…

んんっ

あ
あ
あ

あまりわっちを
見くびるなよ…

はあ

はあ

はあ

あ
あ
あ

んっ

ふう

あ
あ
あ

ふう

はあ
はあ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

はあ

はあ

それじゃあ
遠慮なく

っ！

あ
あ
あ

うんっ…！

ん
ん
ん

あ
あ
あ



あれえ〜？
なんだか甘い声が
聞こえますがねえ

ぬちゅ
はっ
あっ
んっ

んっ
んんっ

ぬちゅ

んうっ

あっ
あっ

ぬいっ

あっ

ぬ

あっ

あんっ

ぬいっ

んっ

アッ
アッ

ズッ



あっ…うっ…
これ…んんっ…あっ！
しきの…事です…

アッ
アッ

アッ

あんっ

あっ

アッ
アッ

あっ

アッ
アッ

はあっ

アッ
アッ

アッ
アッ



へへ…
膣がヒクついて
きてやがる

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

そろそろ
あつしのが欲しい
頃合ですかね



あんっ
あつ

あつ
あんっ

ああつ！

やあ…っ
あ…あんっ！

あつ

そんなにつ
強くっ…んっ…

したら
ダメっ… あんっ！



あつ…

わかった…
もういいっ…

わかった
からあ… あつ

あつ

ギョッ

ズグッ

今更
そいつは殺生で
しようよ

んはあ

んあつあ





あぁあーッ!

あっ……!

だめっ……
あんっ……あっ

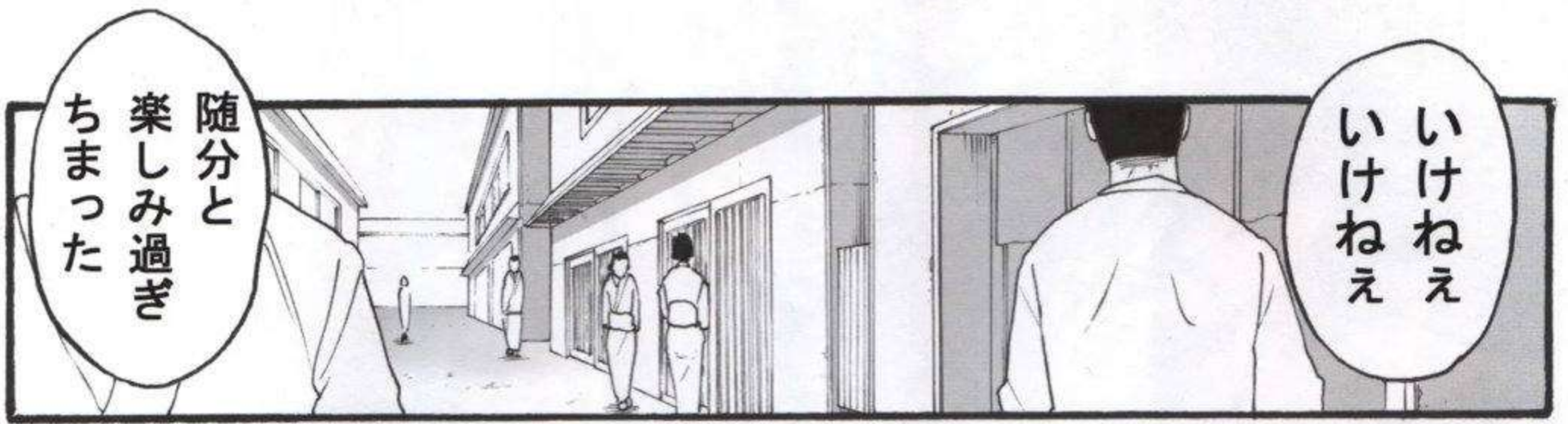
あっ

あっ

あっ

あっ

あっ



いけねえ
いけねえ

随分と
楽しみ過ぎ
ちまった



月詠さん
万一人目に
つかねえとも
限らねえ

早いところ
退散した方が
いいですね

—と言っても



もう
足腰が
立たねえか

後書き

どうもホリエです。
この度はお買い上げありがとうございます。
買ってない人は小一時間問い詰めたい。

さて、懲りずに作りました月詠本。
二期が始まったにも関わらず、コミケでの
銀魂サークルは衰退する一方。
同人ショップを覗けばタイバニの野郎二人
がくんずほぐれつ、掘られつ掘られつつ、な
んとも耽美なジャンルが隆盛を極めている
昨今、「何故未だに月詠のエロさが認められ
ずにいるのか」とカストロをキューバ革命
へと突き動かした衝動と同質のモノが私の
内なる小宇宙をビッグバンさせたわけです。

男性向けでは現在「僕は友達が少ない」や
「インフィニット・ストラトス」が人気傾向に
ありまして、いやらしい話、ジャンル効果を
期待するのならそちらに流れるべきなので
しょうが、どうにもやる気にならない。

ゲームの話になりますが、昔からメインキ
ャラを選ぶ事には若干のアレルギーがありま
して(厚生労働省は難病指定すべき)「三国志」
でいえば馬騰や袁術、「信長の野望」でいえば
浅井久政や尼子晴久といった「主役ではない
けれどソコソコの脇役」を選ぶ傾向が強い
のです。もっと万人にわかり易いゲームで例
えるならば「カルネージハート」では二足型
よりあえて四足型を選ぶも、流石に戦車型は
ねーよ。アートディンクがなに考えて戦車
作ったかは未だにさっぱり理解出来ない。
なんだ？一流のユーモアなのか？私が山陰
の生まれだから理解できないのか？それ
ともギニアあたりだったらバカウケする
んじゃないのか？と気付けば「自分がと
ても面白いと思って友達に貸したカル
ネージハートが二日後に突き返された
時の胸の痛み」が今でも鮮明に蘇って
きて何故だか頬から熱い涙が止まらな
くなって来ました。悲しみが耐え難い
のでこの辺で止めときます。

えーと、結局何が言いたかったんだっけ？
まあ別にどうでもいいや。
そういえば「トバル2」もわかりあえな
かったなあ。名作だと思うんだけども。



月詠さんが
山にいらして
さわてしまっ
話

※ 十八歳未満の購読を禁じます

月詠さんか

しゃららしい事を
されこしまう話



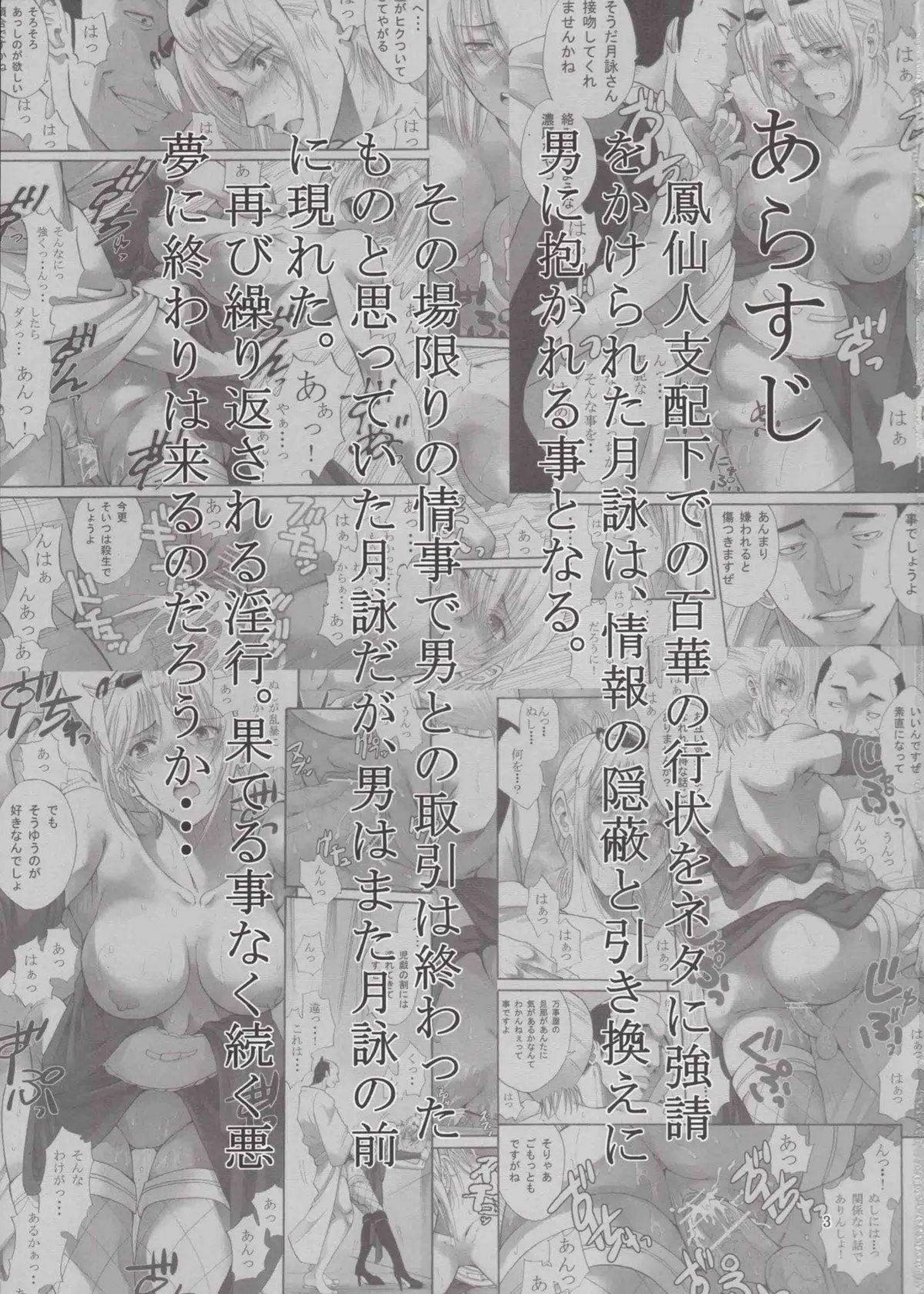
著 かつおぶし

あらすじ

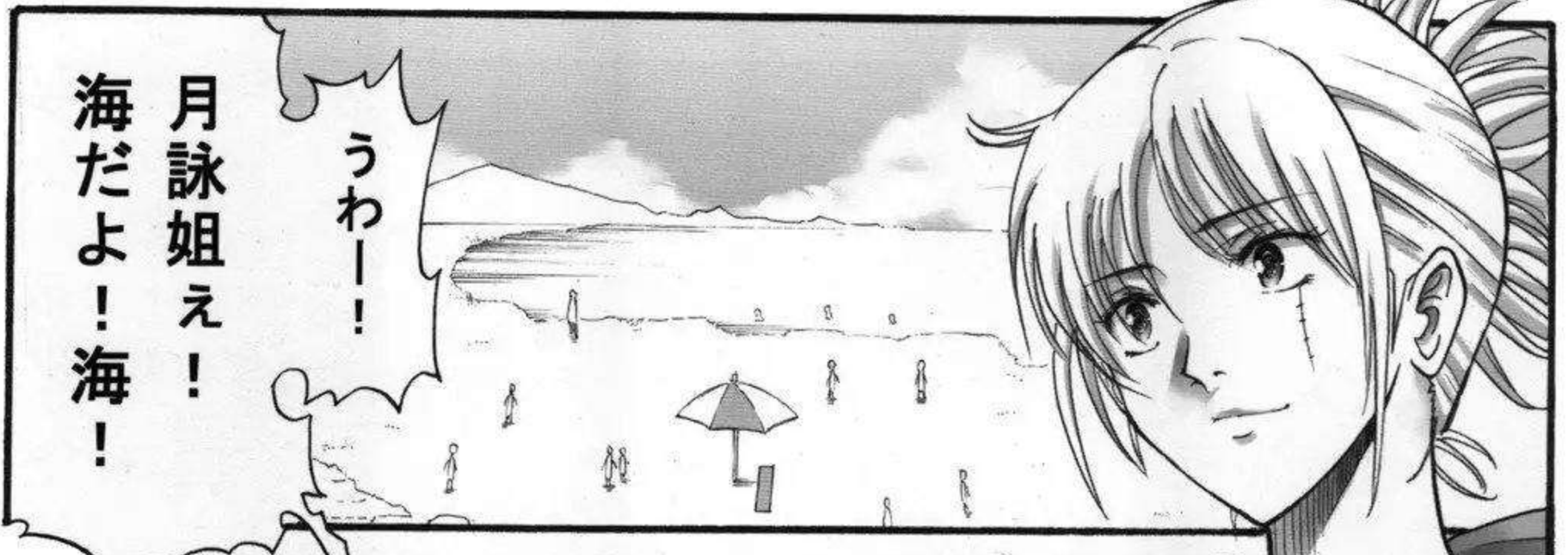
鳳仙人支配下での百華の行状をネタに強請をかけられた月詠は、情報の隠蔽と引き換えに男に抱かれる事となる。

その場限りの情事で男との取引は終わったものと思つていた月詠だが、男はまた月詠の前に現れた。再び繰り返される淫行。果てる事なく続く悪夢に終わりは来るのだろうか……

悪







月詠姐え！
海だよ！海！

うわー！



オイラ
向こうの岸
まで泳いで
くるよ！

気をつけ
なんしよ
晴太ー



あの男が
姿を消して
二週間

わっちの元には
平穏な日々が
戻った

それまでの
わっちの日常は
屈辱そのもの
だった

どうにも
溜まっち
まいましたね
やらせて
下せえよ

ふざけるなっ！
なんでわっちが
そんなっ……！

いいじゃ
ないですか
その物陰で
裾めくって
突っ込まれてれば
すぐ終わりますよ

丁度
人通りも
少ないし

なっ……！

あつしらの関係が
公になってもいいなら
拒んでもいいんですぜ

……
……好きに
しなんせ……



あんまり良くて
声が抑えされ
ませんかね？

へへ...
相変わらず
最高の具合だ

~~~~っ！  
少しは遠慮  
毎度毎度...  
せぬかっ...!

あんなにわげ  
があるかっ!!

はあ

はあ  
はあ

あっ...!

あ...

はあ

はあ





んっ……んっ……  
!!!!

んっ……!

せつせつせつ!



はあ

はあ

へへ  
どうも  
ご馳走様  
でしたぜ



御免……

くっ……

まだ足元が  
定まらぬか  
……

はあ

茶をくれ

しばし休ませて  
もらおう

はあ





丁度ね

ああどうも  
奇遇ですね  
月詠さん

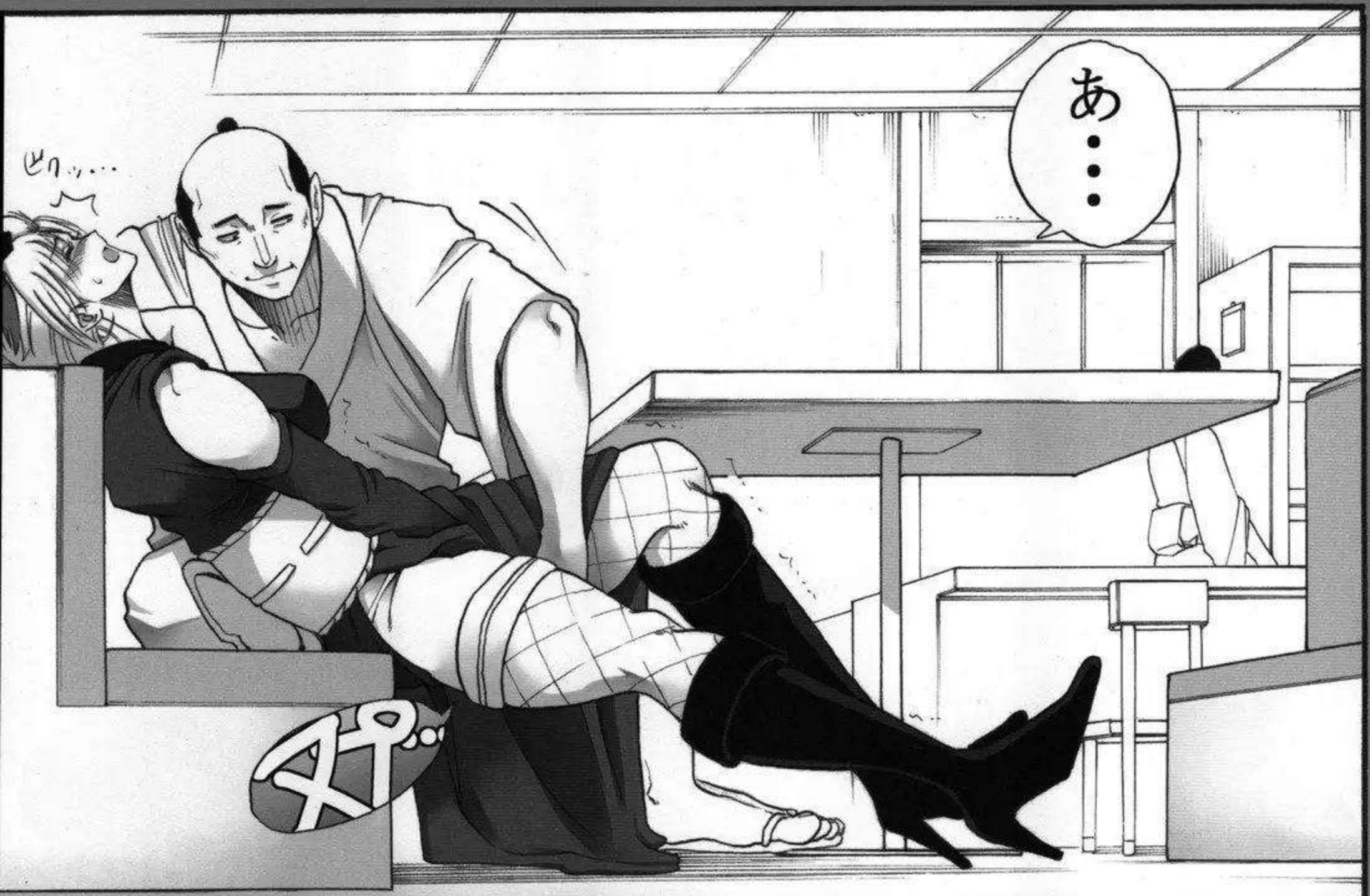
こいつを  
試したいと  
思いましたね

バカを申せ！  
こんな所で……

いいでしょ  
今なら人影も  
少ないですぜ

よせっ！  
コラッ！

くっ……！



あ……

アッ……



思ったより  
すんなり  
入っちゃいま  
いましたぜ

ねえ？

この……！  
クズめっ……！





そのクズに  
イカされる気分は  
どうですかい

んんう…!

んっ!

!!!!



クズで結構  
ですがね

んんっ…!



ぐちゅ!  
ぐちゅ!  
ぐちゅ!  
んっ  
くう…

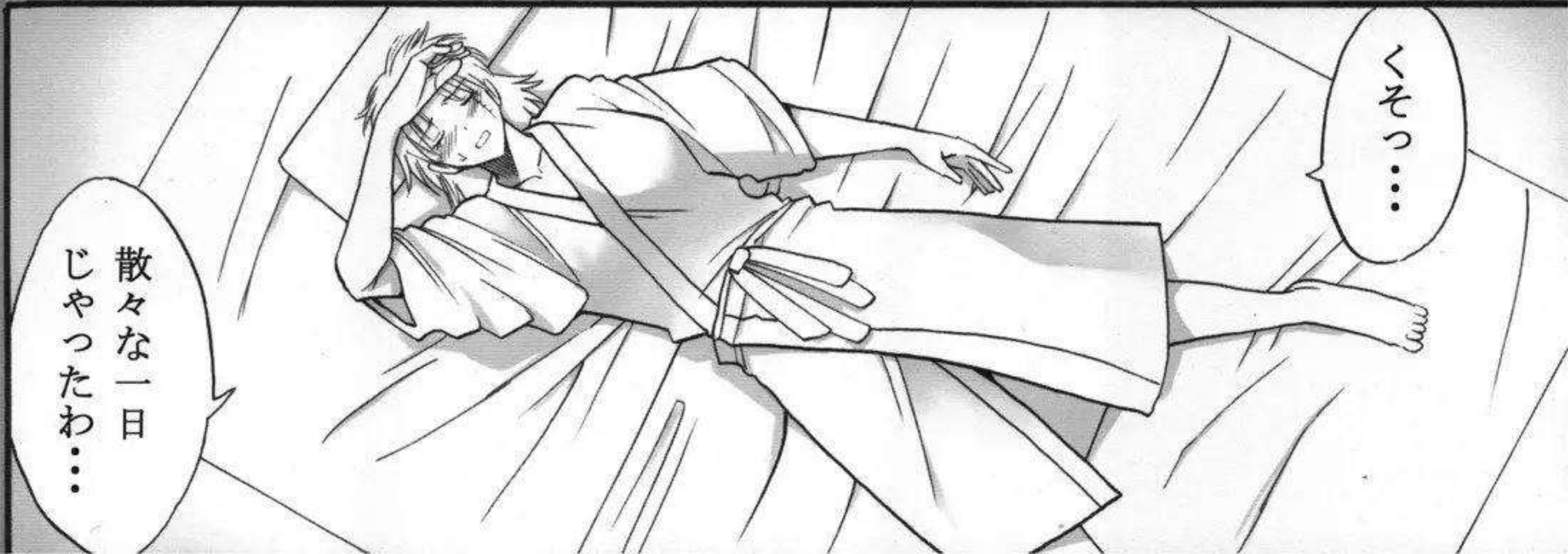


へへ…  
じゃあ  
また…

はあ

はあ

はあ



くそっ…

散々な一日  
じゃったわ…

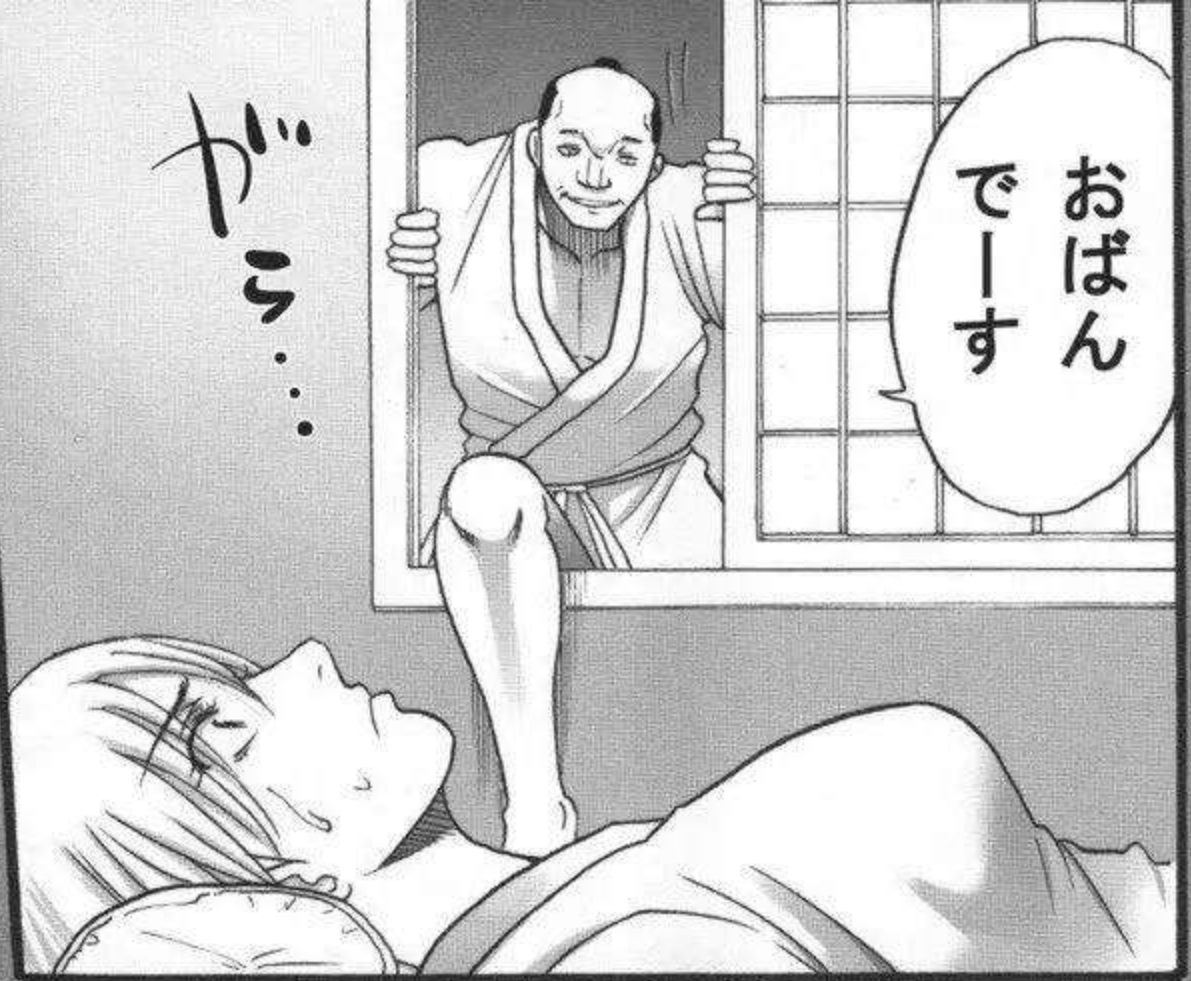




殺されたいのかぬしっ!

こんな時間に何をしに  
来おった!

こんな時間だからこそ  
でしようよ



おぼんでーす

がら...



おおーっと  
あんまり大声は  
出さねえ方が  
いいですぜ

.....っ!

ここ吉原じゃあ  
どんな噂が立つとも  
限ったもんじゃねえ



ふんっ...!  
どのみち  
わっちには  
選択肢が  
ないのだろう!

わかってくれた  
ようで嬉しい  
ですぜ



はあ

はあ

はあ

あつ...



はあ

はあ

はあ



^^...

くっ...

ん...





チンポ  
突っ込まれながら  
睨み付けないで  
下さいよ

んあっ

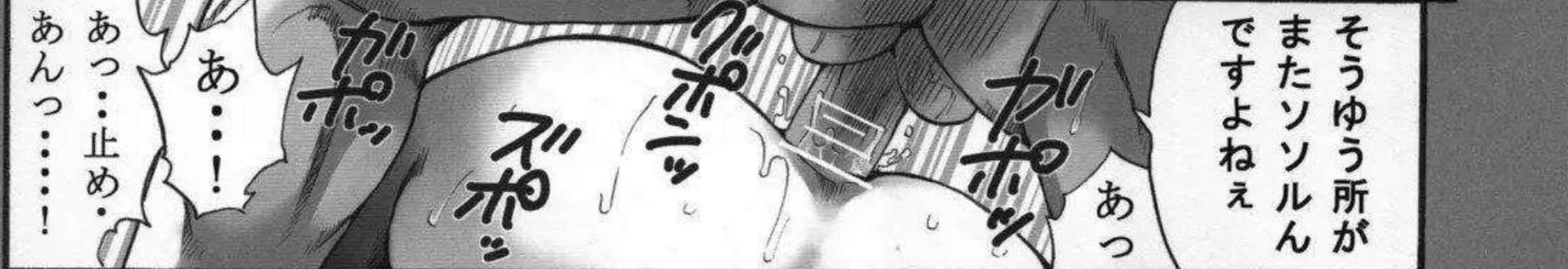
余計に  
イキリ立っち  
まいますぜ

んっ  
んっ  
んっ

ズッ  
ズッ  
ズッ

とことん……!

腐った性根を  
しておるな……



そうゆう所が  
またソルン  
ですよねえ

あっ

かッ  
かッ  
かッ

ズッ  
ズッ  
ズッ

あ……!

あっ……止め……

あんっ……!!



あっ……!

やあ……っ

あぁ

ズッ  
ズッ  
ズッ

あぁ……ツ  
!!!!





男は時も場所も  
選ばす現われ  
わっちの身体を  
陵辱し通した

半日と空けず  
それも毎日

しかし  
2週間前

突然男は  
姿を消した





だが……

どうも  
奇遇ですね

どうせ  
どこからか  
監視して  
いたんで  
ありんしょ

あらら

随分嫌われち  
まいましたね

わかってるなら  
その薄汚い面を  
一生わっちの前に  
さらすな

まあ安心して下せえ  
あっしも他のシノギが  
忙しくてね

これが最後の  
逢瀬かもしれねえ

それにしても  
名残惜しいなあ  
あんな事や  
こんな事

もつと愉しみ  
たかったん  
ですけどねえ

また……  
この匂い……

ス……





ああ  
いけねえや

月詠さんの身体  
思い出してたら  
勃ちっちゃった



参ったなあ  
往来も  
歩けませんぜ



知るかつ……!

心底  
度し難い  
男じやな!



どうした  
もんですかね  
月詠さん

コレ









ん…  
わかって  
おる…

もっと  
ねぶるように  
舐め回さねえと

ん  
チロチロ  
やってねえで  
啜えて下せえ

んく…  
んんっ

おん…おん…

ふっ

おん…おん…

はあ

ん…  
こう…か?

おん…おん…

ふっ

おん…おん…

ふっ

ふっ



あ…

ギッ

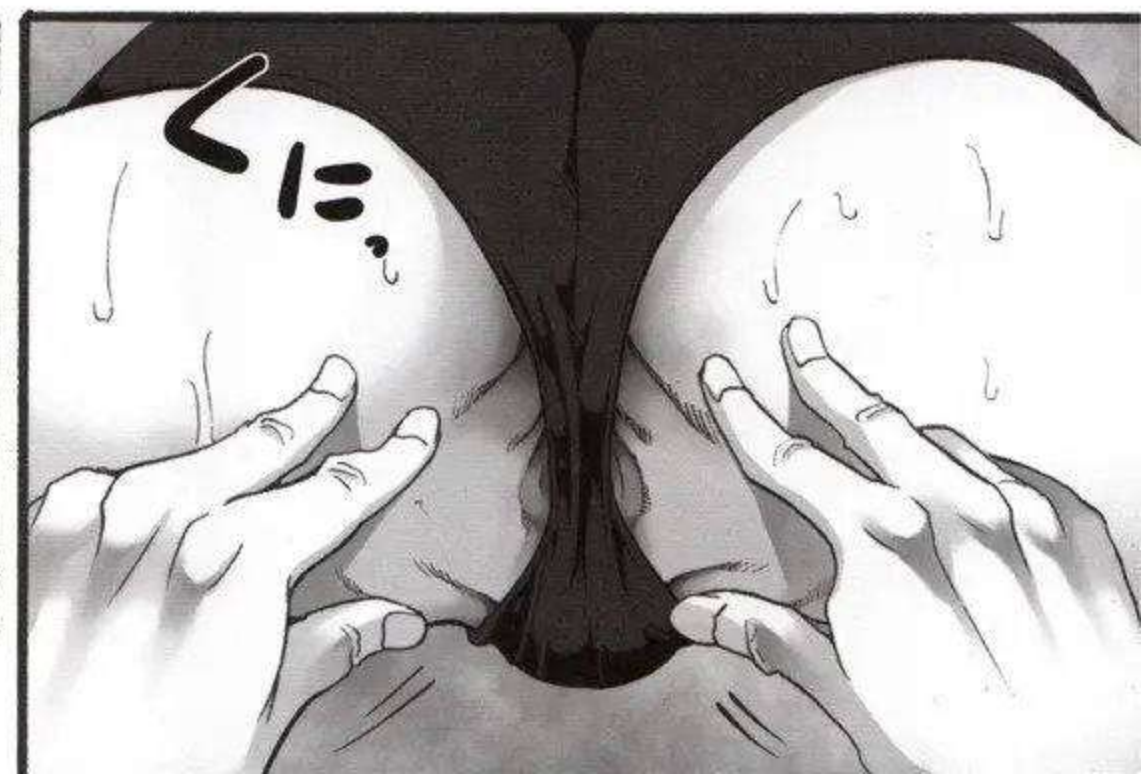


壺の具合は  
一級品でも  
こっちはまるで  
素人娘ですぜ

そんなんじゃ  
いくらやっても  
又ケませんぜ

くっ…

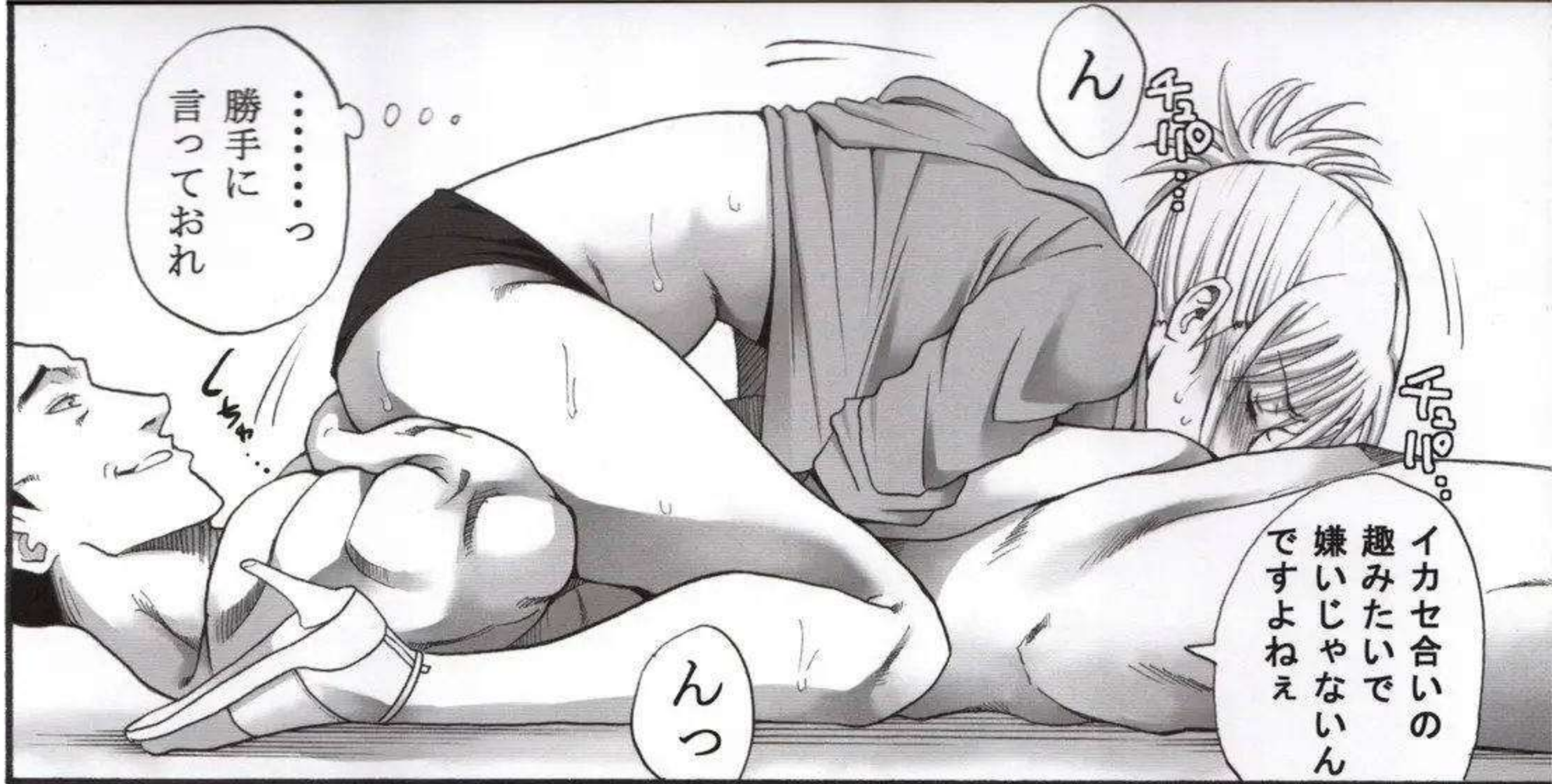










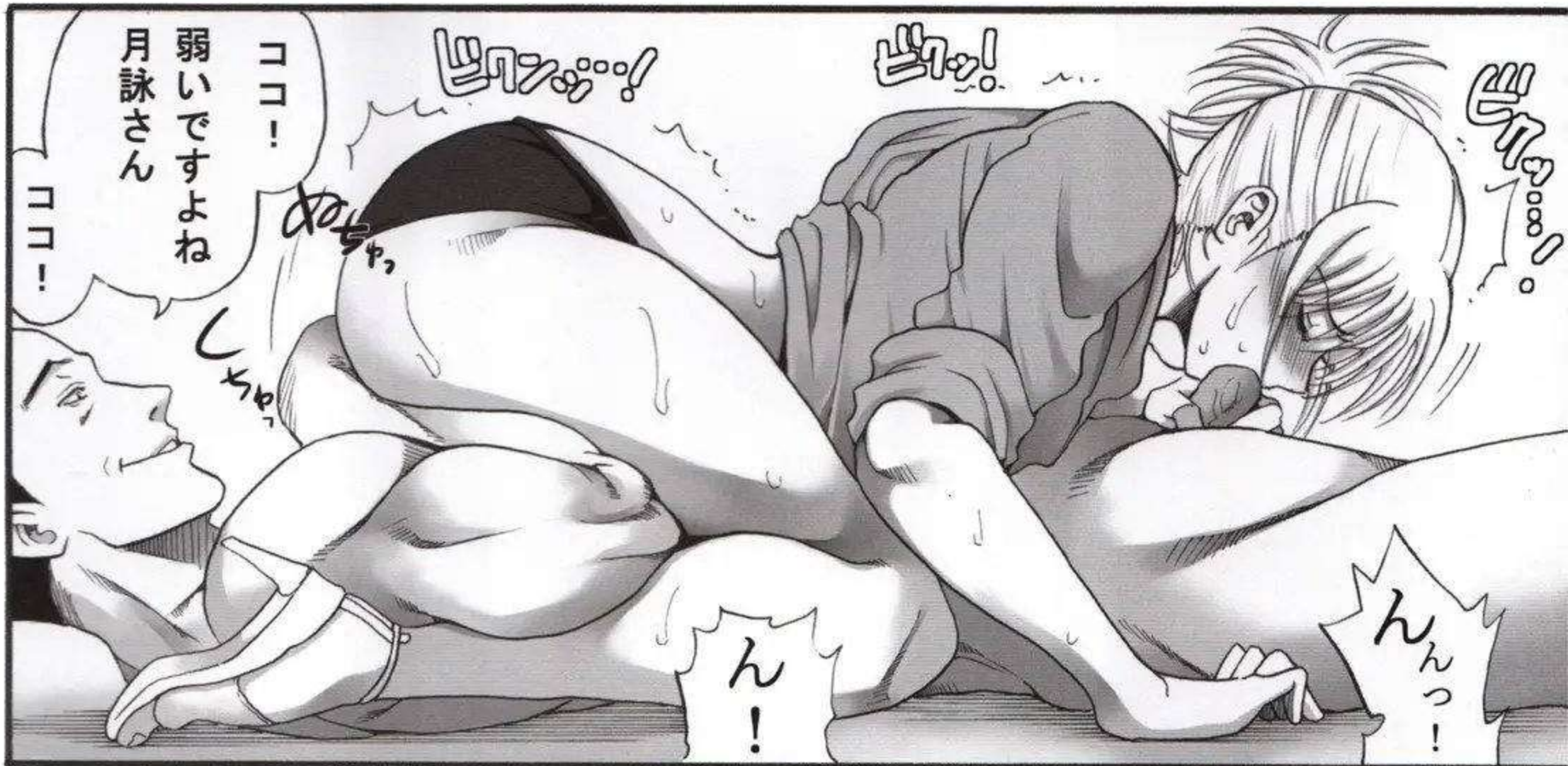


勝手に  
言っておれ

んっ

んっ

イカセ合いの  
趣味みたいで  
嫌いじゃないん  
ですよえ

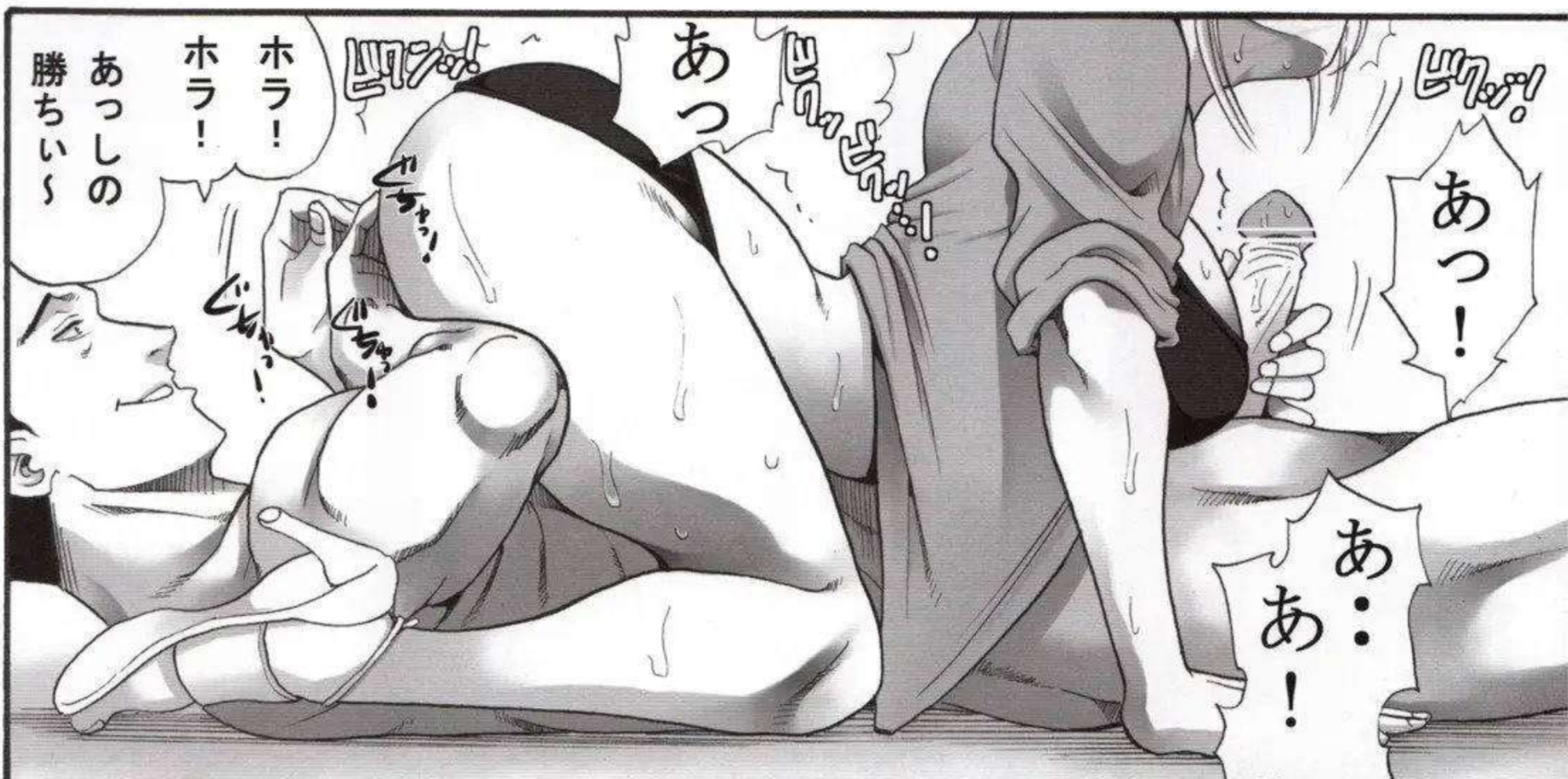


ココ!  
弱いですよね  
月詠さん

ココ!

んっ!

んっ!



あっ  
あっ!  
あっ!  
あっ!

あっしの  
勝ちい

あ：  
あ！



ちよつと待てっ！  
手を止めるろっ…！！

あっ

グチャッ！

ズル…ズル…！

グチャッ！  
グチャッ！

…話がっ  
違つてきては  
おらぬか!?

あっ

んー  
どんな話  
でしたっけ？

はっ

そうは  
言つてもねえ

手持ち無沙汰  
なんで勘弁  
して下さいよ

あんっ！  
こらっ！  
いい加減に：  
せぬかっ！

あ！

でもねえ  
これじゃあラチが  
開きませんぜ

あんっ…！！

あっしもさっさと  
又きたいんで  
別の手法で  
試しませんかね

？





どうしました？  
もっと動いて  
下さいよ

くぅ……

それとも  
気持ちよく  
なっちゃい  
ましたか？



違うわっ！

こんな  
破廉恥な格好には  
慣れぬだけじゃ！

はっ



ダメです  
かねー

挿れさせて  
くれれば早い  
んですけど

わっちは  
ぬしの情夫  
ではない！  
勘違いすな！



ぬん

はっ



まあ今日は  
我慢しますよ

きゅん！

キゅん





何をやるっ！  
やめんか！

素股やるなら  
こうしたほうが  
いいでしょうよ  
知りません  
でしたか？

やっ



こっ…これ位  
知っておるわ！

ぬしは  
黙って  
寝てる

ホントは  
今思いついたん  
ですがね



これは  
もしかして  
お互いに愛撫  
し合っている  
ようなもの  
ではないか？

はあ  
はあ

はっ

はっ

ん

んっ



ああ…もう…  
直に触れ合っ  
ているではないか

はあ

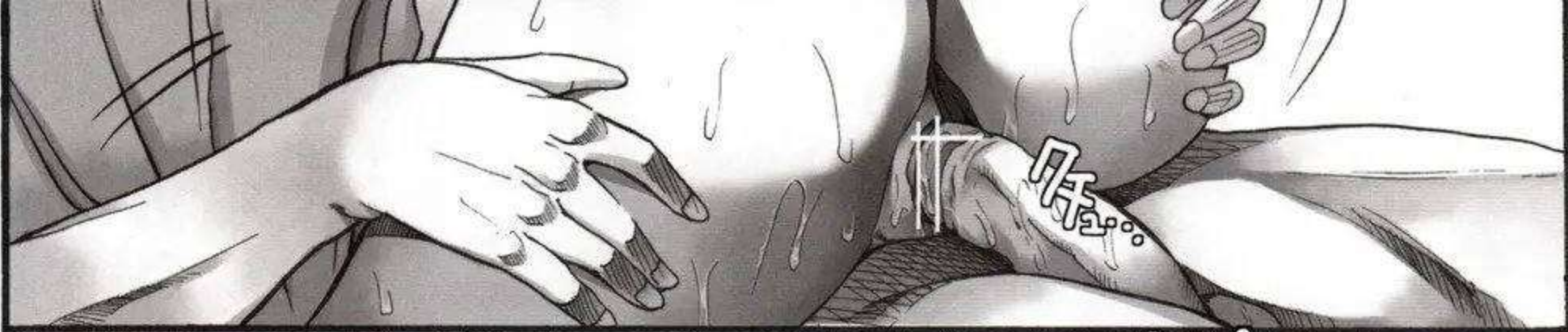
はあ

でも…  
挿いっていない  
のだから…

はあ

はあ







あーこらっつ...やめんか!  
勝手にっつ...んんっつ...  
動く...なあ...っ!



んんっ!?



んっ...  
んん  
!!!!



ふう  
ん:  
ん







動くのを…んっ…  
しばし止めよっ!

待てっ!  
抜かんでも  
良いっ…

ぷあ

はあ  
あっ





ここに  
至っては……  
止むを……んっ  
得まい……

いいんですかい  
挿入っちまって  
ますぜ



はあ

わっちの  
ココ……

使わせて  
やるから  
早う出せ

はあ

ぐんや……

ぶちゅ……

はあ



仕方  
あるまい

はあ

はあ

今は晴太が  
戻る前に  
終わらす事が  
先決じゃ  
しかし……





はあ

ズッ  
これではまるで  
自ら求めている  
ようではないか

へへ：  
ハハハハ

あつ  
わっちは  
なんと淫らな  
事を...

こらっ...!!  
寄るな!

そりゃあ  
殺生でしょう

はあ

はあ

はあ



そんな顔  
見せられちゃあ  
我慢出来ませんぜ

はあ

はあ

そこまで艶っぽさ  
出されちゃあ  
こっちも収まりが  
つきませんぜ

知るかっ!!  
んっ...くっ!!  
勝手ばかり  
ぬかすなっ!





あん！

ぎゃん

あ

ぎゃん

ぎゃん

あんっ

身体はそうは  
言っちゃいけない  
みたいですがね



くっ...

この...

はっ

はあ

はあ

^^



はあ

ズッ

ズッ

はあ  
はあ

ズッ

ズッ

はあ

ズッ

そのキレイな顔を  
あつしのイチモツで  
歪ませてみたく  
なりましてね

ふざっ...けるなっ!

いつもぬしの  
思い通りにっ...  
なると思うな!

ズッ

ズッ

はあ



あつしの上に  
跨る月詠さんは  
気持ち良さそうに  
見えましてたぜ

あつし  
あつし

あつし  
あつし

それは：  
…あん！  
成り行きで：  
仕方なくじゃ！

あつし

あん！

あ！

あつし

あ  
あ

あつし

あつ

へへ…  
否定はしない  
んですね

あ

うっ…  
うるさいっ！

へへ…  
それじゃあ  
お待ちかね

あつ

あん

あつし  
あつし  
あつし  
あつし

あ…やつ…  
待てっ…！  
中っ…ダメ！

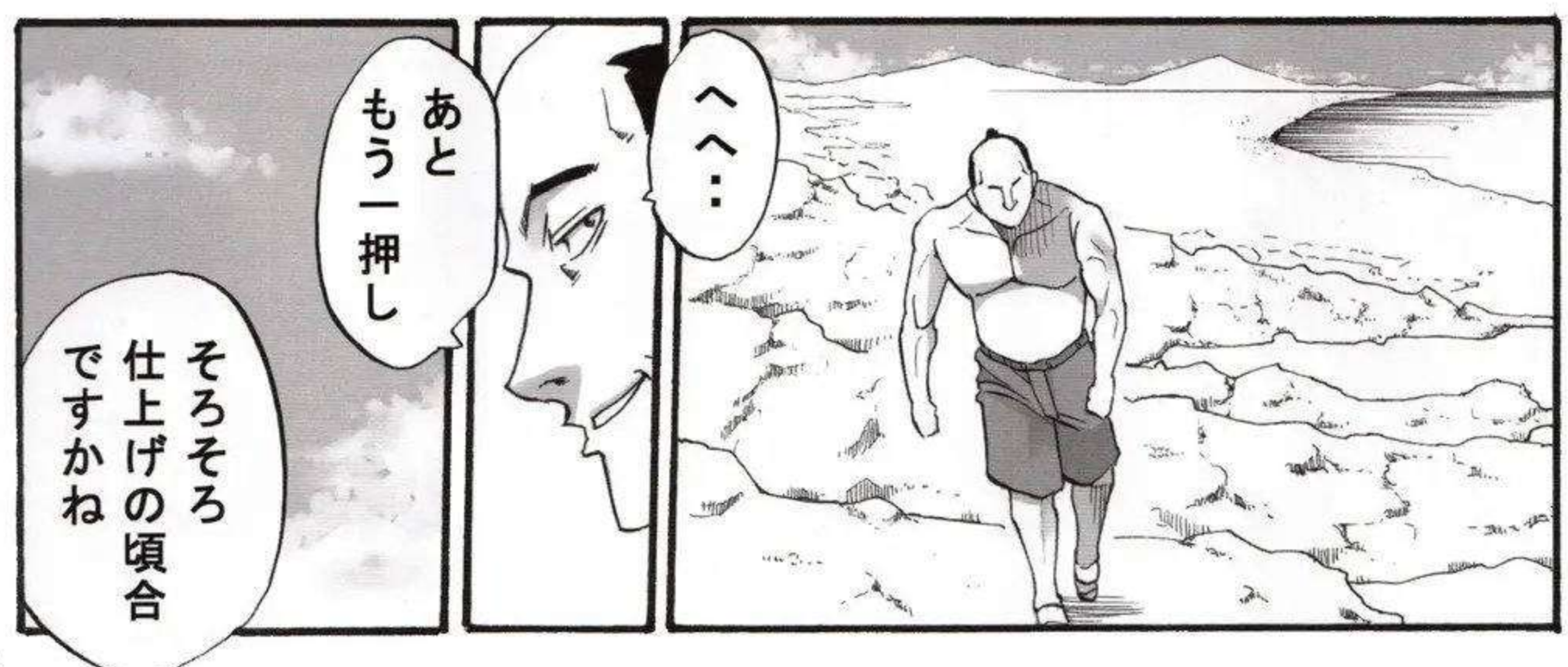
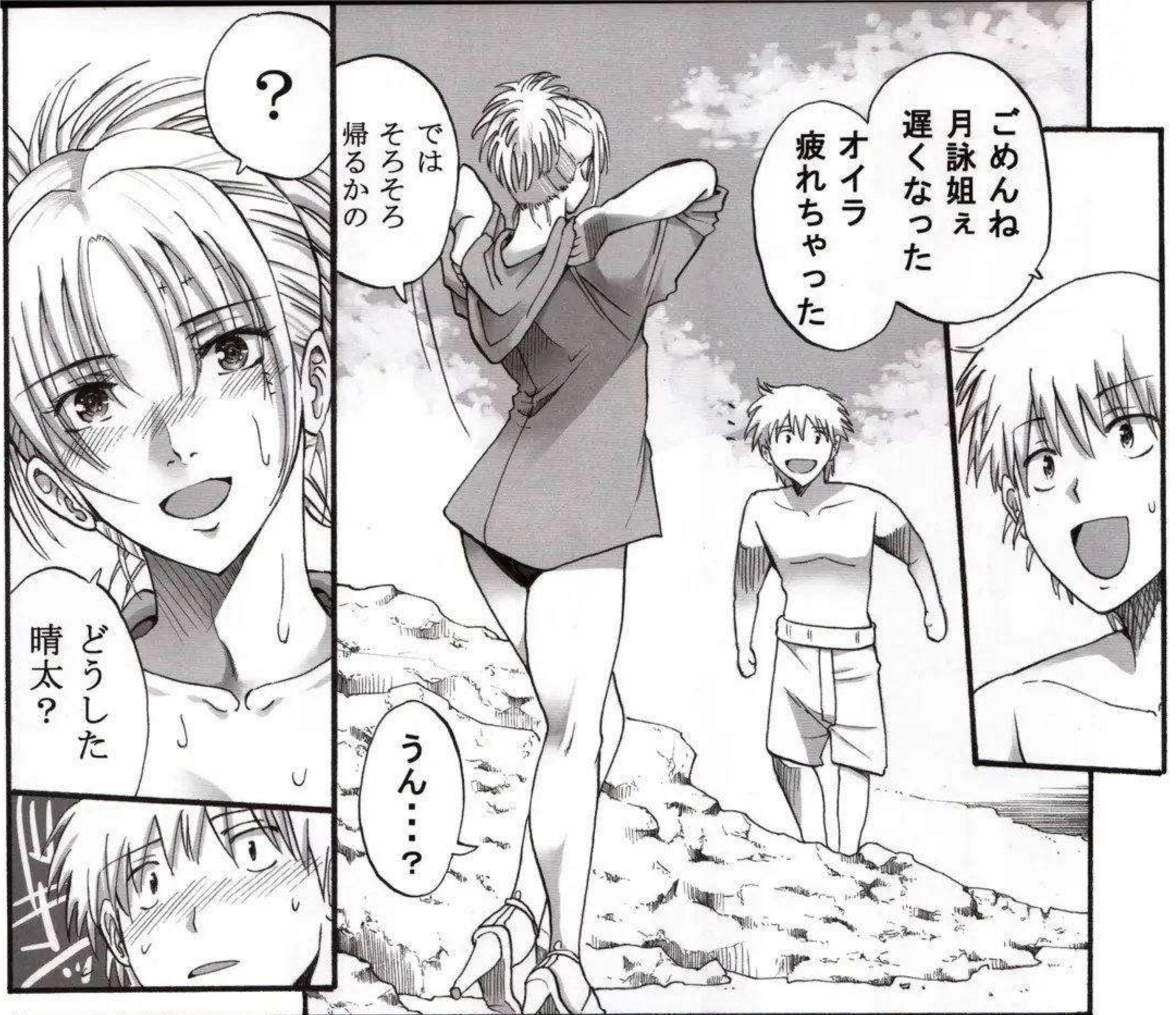
あつし

あつし











# 後書き

どうも、ホリエです。  
この度はご購入ありがとうございます。  
買ってない人は呪われてしまえばいい。

さて、懲りずに出しました月詠本3。  
売れてくれれば5までで完結するように話は  
考えていたりします。どうかなー。売れてくれ  
ないかなー。チッ)

アニメ本編もめでたく延長戦とゆう形で放  
送復活しましたし、映画も夏公開って事はそ  
れまでなんらかの形で続いたりするんじゃない  
かと希望的観測をしております。

そんであれですわ。爆発的な銀魂人気が世間  
を席卷して(ダジャレではない! 断じて! 韻を  
踏んだだけ!)そのジャンル効果はセーラーム  
ーンバブルを彷彿とさせ、表紙に月詠を描いた  
だけで本が飛ぶような時代が...

来ても、まあそれはそれで嫌なんですけど。  
そもそもそんなブームは来ねえし。

そんなわけで月詠布教の為に明けても暮れて  
も漫画描いていたわけなんですけど、ふと思ひ立  
つわけですよ。最近特に。無性に。

「懸垂がしたい」

昼間公園に行くにあらぬ事案が発生する懸  
念があるので夜ひっそりと懸垂しに行きます。  
するとね、いるんですよ悪そうな少年達が。大  
人は誰もわかっちゃくれねーんだ。みたいなの。  
もうナチュラルポーンチキンの私としては足  
の震えは止まらねーわ、小便は漏らすとゆうか  
放尿レベルの流出量で大変ですわ。

「それでも懸垂がしたいっ!」

その一念だけで鉄棒に近づくと少年達はガ  
ン見ですよ。絶対に私の懸垂回数を数えるわけ  
ですよ。こりゃあもう勝負ですよ。

負けてられません。日頃一日中パソコンに向  
かいあってても信心があればなんとかなる。宗  
教の勧誘に来てた何某かがそんな事言ってま  
した。塩ぶっかけてやりましたけど。

結果、6回。

まあアレですよ。肩まわして「久しぶりだと  
キツイわ〜」とか呟きますよ。

運動している中学生なら10回出来るとか  
ゆうのは都市伝説に違いない。





# 奥付

月詠さんがいやらしい事をされてしまう話3

発効日 2013年2月11日  
サークル かつおぶし  
著者 ホリエ  
印刷 上野印刷所 様

メールアドレス

[horieug@jn3.so-net.ne.jp](mailto:horieug@jn3.so-net.ne.jp)

URL

<http://horihorihori.blog.so-net.ne.jp/>

※この本の無断転載、複写、転写  
及び18歳未満の方の購入、閲覧を禁じます。



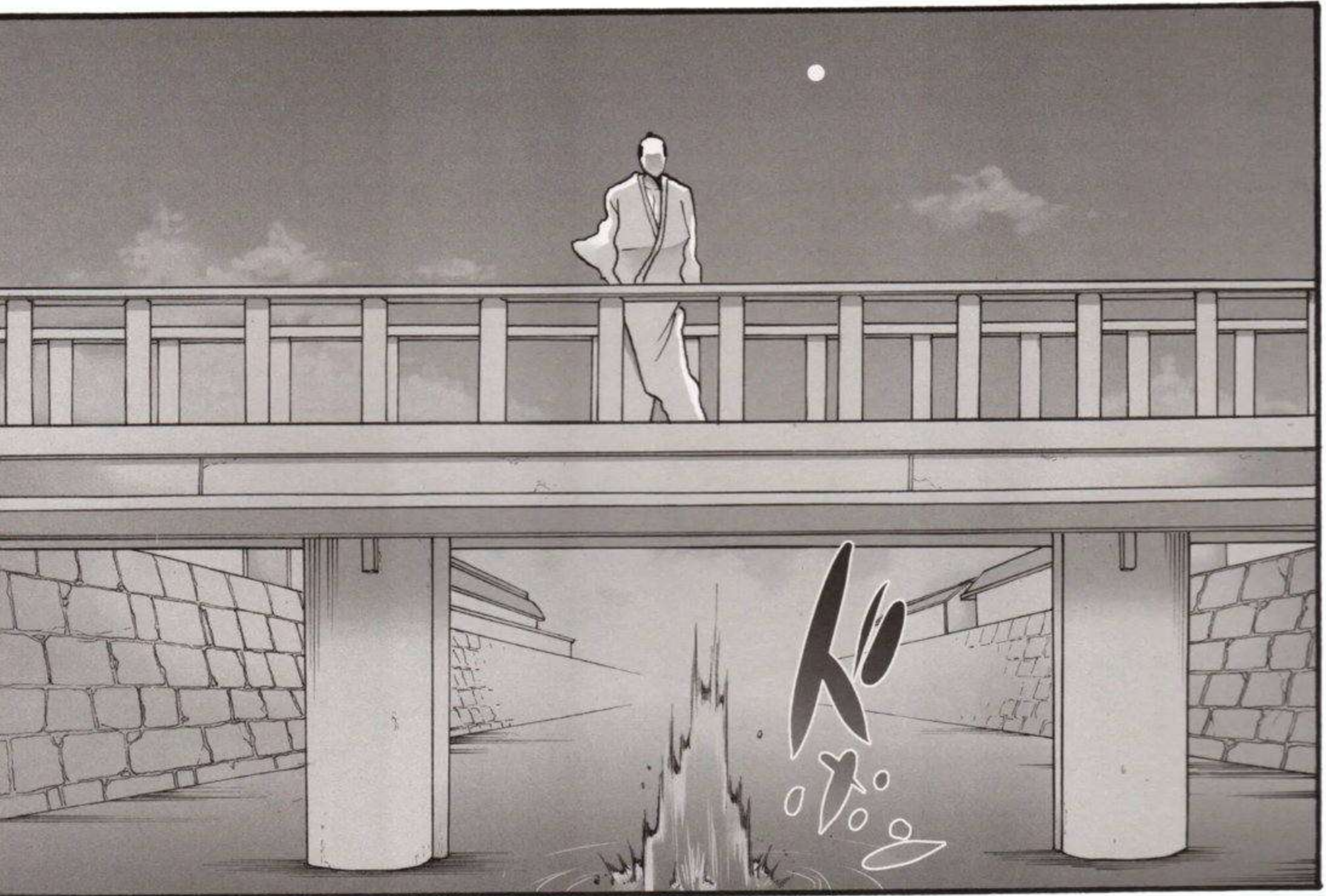
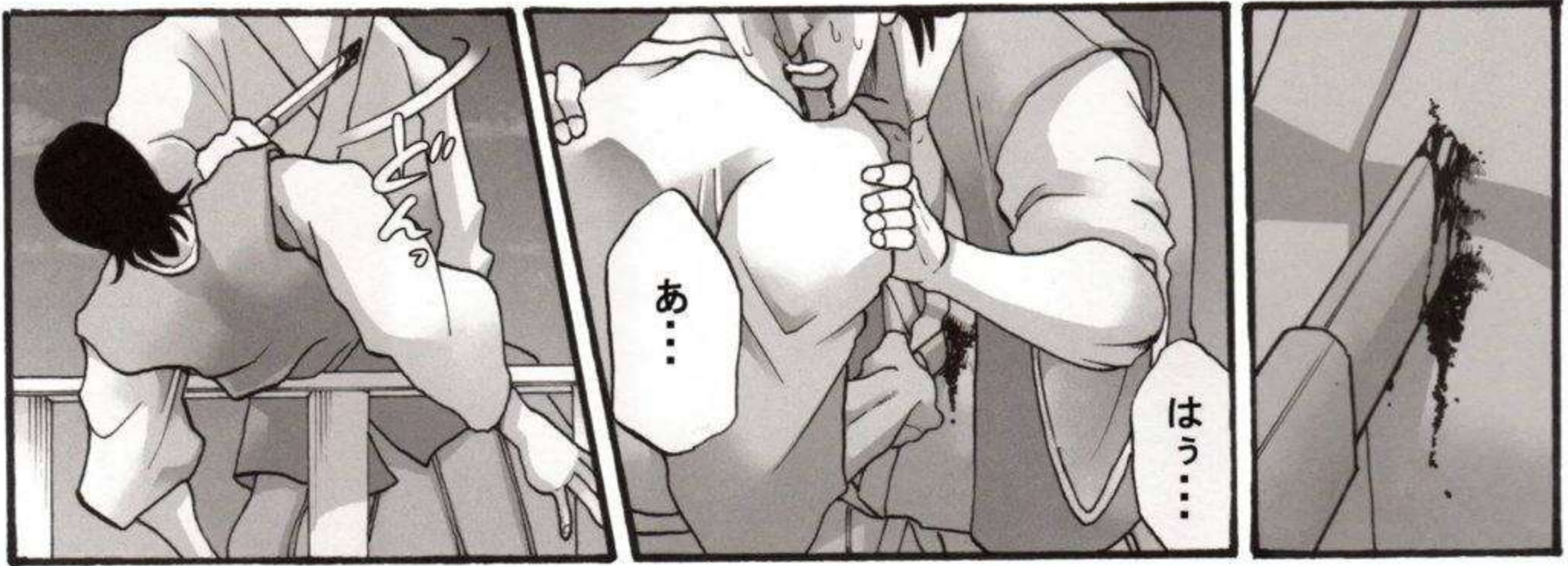
月詠  
 知らぬ  
 さんが  
 さらし  
 事  
 まう  
 話













あらすじ

鳳仙支配下での百華の行状をネタに強請を  
かけられた月詠は、情報の隠蔽と引き換えに  
男に抱かれる事となる。  
その場限りの情事で男との取引が終わった  
と安堵する月詠。だが再び男は現れた。  
月詠が抗えぬ事情に付け込み執拗に淫行を  
繰り返す男。屈辱にまみれながらも陵辱され  
続ける他に術のない月詠。  
果たしてこの悪夢に終焉は訪れるのだろうか。

至っては...  
止むを...んっ  
得まい...

いいんですかい  
挿入っちまって  
ますぜ

そつそつ  
この格好なら  
早く出せそう  
ですぜ

はあ

わっ  
ココ...

はあ

仕方  
あるまい  
はあ

あつしの上に  
跨る月詠さんは  
気持ち良さそうに  
見えましたぜ

あつ

へへ...  
否定はしない  
んですね

あつ

あん

御免...

まだ足元が  
定まらぬか

茶をくれ

4

しばし休ませて  
もらおう

へへ...  
このケツを  
見るだけで  
抜ちまい  
そうですぜ

本当...  
だろうな

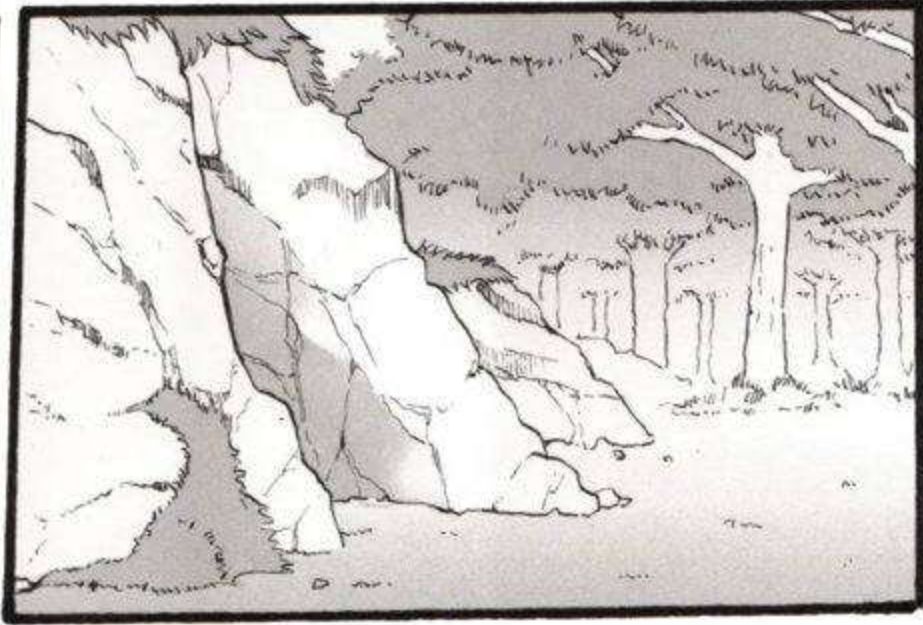
ん...

このケツを  
前に我慢なんて  
殺生ですよ











わざわざ  
訪ねてくれるたあ  
あつしの温もりが  
恋しくなり  
ましたかね

驚いたな  
まだ軽口を  
叩きおろすのか

何の諍いかは知らぬが  
組頭を殺めたのは  
威勢が良すぎたのう

江戸中の筋者が  
ぬしを血眼になって  
探しておるぞ

理由

知りたい  
ですか？

数日後には  
土左衛門に  
なられる御仁に  
興味も何も  
ありんせん

はは…  
こいつあ  
手厳しい

ところで  
月詠さん





抱きたく  
なっちまい  
ましたよ

ん  
んっ  
!!!

あーっ



今なにか  
飲まされた!?  
それに  
この香り...



こんな時  
だからこそ  
じゃないですか

こんな時につ：  
血迷うたか！

ぼた

びた



ようやく  
効いて  
きましたかね

...  
!?



墮淫香

このっ...

くっ...

女はより女に  
男はより  
男につて  
香ですよ

しかもこいつは  
便利なことに  
中毒性が極めて  
高くてね

う...  
くっ...

使えば使うほど  
効果が高まるって  
シロモノなん  
ですよ

ぬっ...  
離っ...んっ...  
さぬかっ!

月詠さんにも  
憶えのある  
香りでしょう

やめんか...  
こらっ...!!

くうっ

んんん...

...あっ!

あっ...!!





いいじゃないですか  
何度も愛し合った  
仲でしょうよ

妄言を弄すな!  
望んだ事など  
一瞬たりとも  
ないわっ!



いいですね  
そそりますぜ  
あっしはその方が  
燃えるんですよ

やめんかっ...!  
くっ...んっ...  
このっ...!  
いい加減に  
せぬかっ...!

ギャッ  
んん...



離さぬか!  
痴れ者が!



ぬかったわ...  
自覚できる程に  
香の効果が  
回ってきておる

これはいかん...  
力が入らぬ上に  
厄介な事は...

はあ  
はあ





やあ...

あつ...

はあ  
どこを...  
触っておる

あつ...

あつ



これだけ極上の肉  
飽きる事なんて  
有り得ませんぜ

あつ...  
ざけるなあ...!

はあ

あつ

こやつが  
触れた所  
すべて...

身体の奥から...  
熱くなってくる...

またまた  
ご謙遜を

はあ

くう...  
なんとか  
して...

香の効を:  
止め:ねば:

はあ

はあ

はあ



はあ

このっ...

散々翳って  
おいてっ...  
まだ足らぬか!

はあ

あつ...



このままでは  
身動きひとつ  
とれぬように  
なってしまう...

はあ

はあ

ズン  
ズン!

はうっ!

あ.....!

クチュ...

クチュ...

あっ...

クチュ...

クチュ...

うっ...

指一本で  
随分反応して  
くれますねえ

はあ

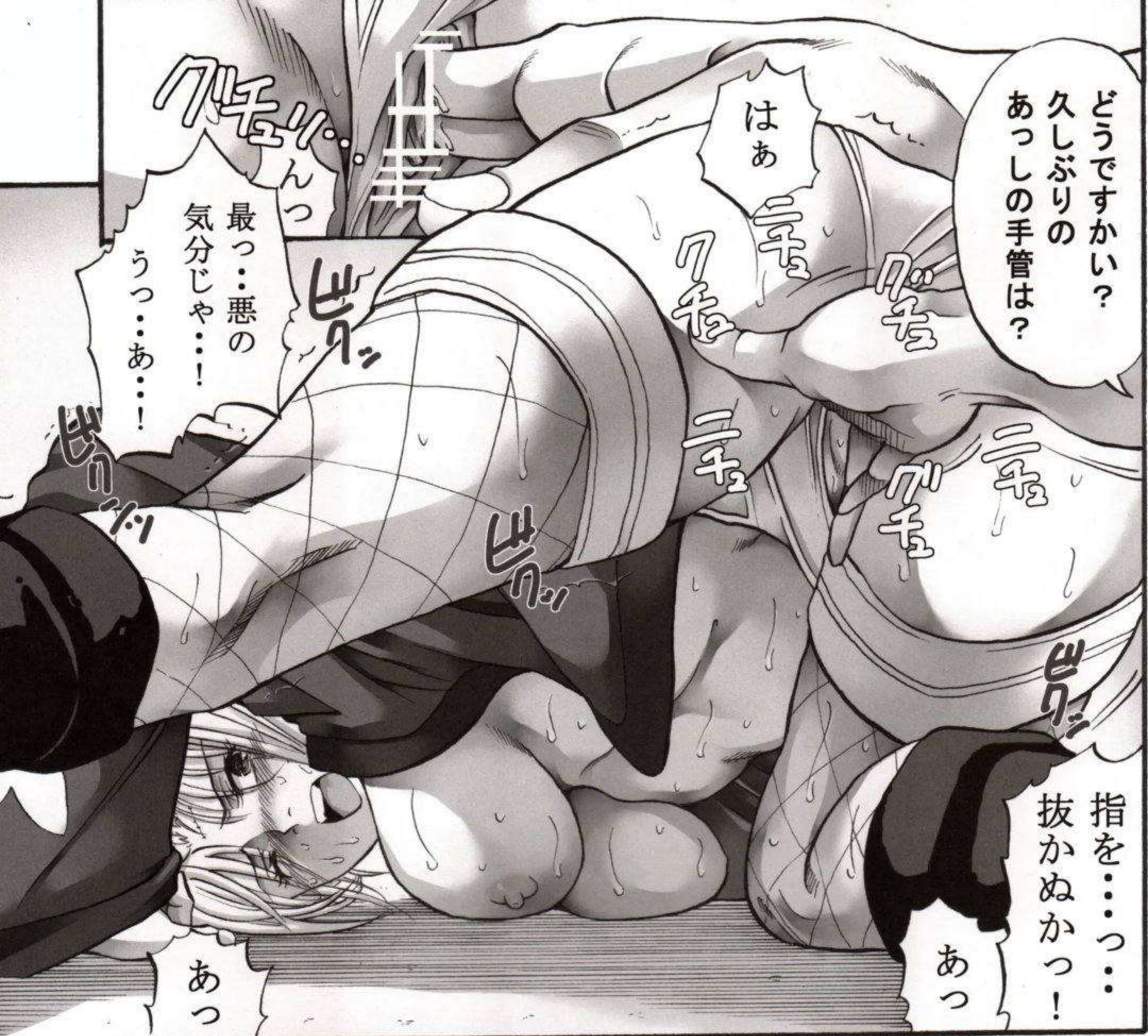
はあ

ぬしの指かと  
思うと...

吐き気が  
したのでな...

はあ





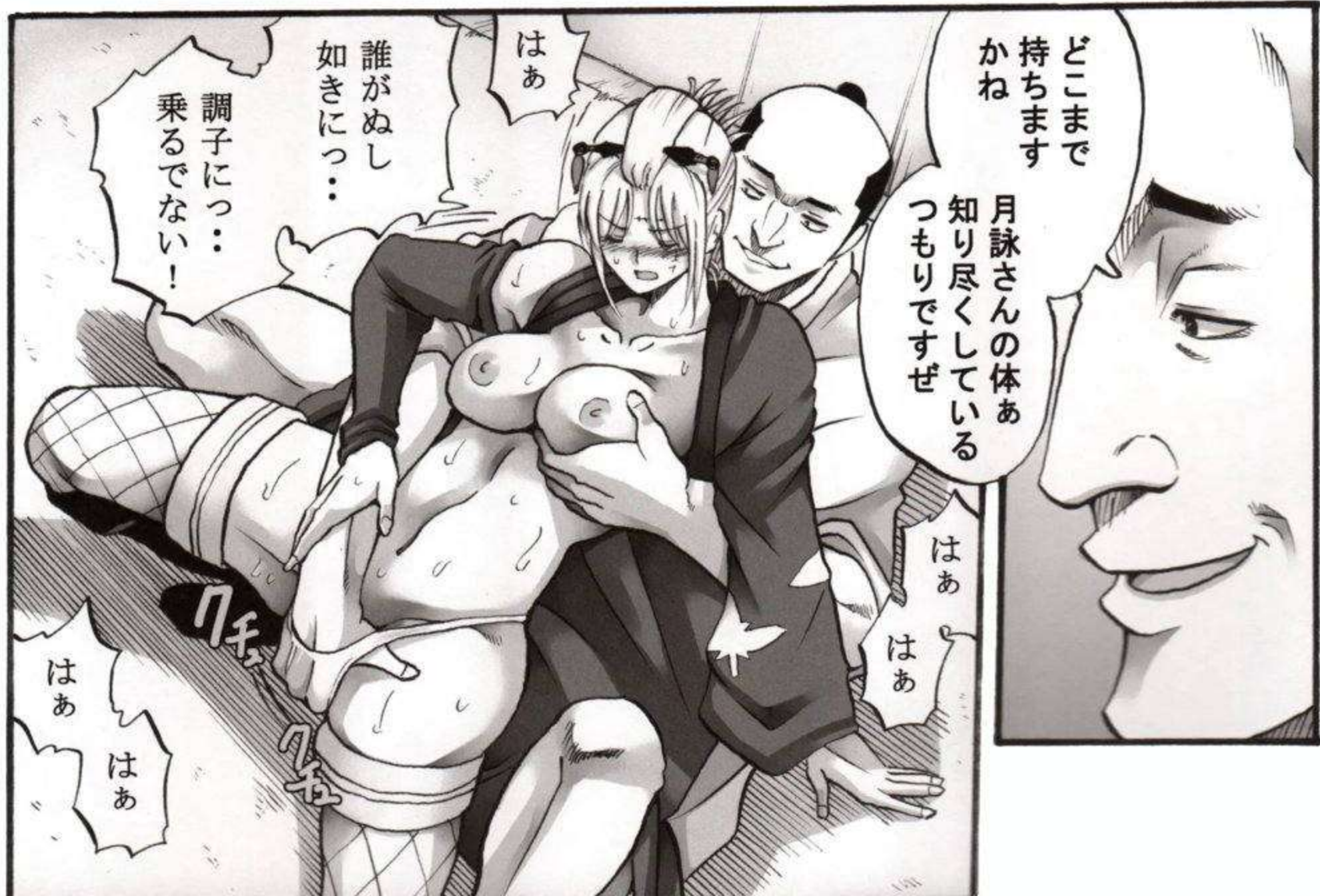
どうですかい？  
久しぶりの  
あっしの手管は？

はあ

最っ…悪の  
気分じゃ…！  
うっ…あ…！

指を…っ…  
抜かぬかつ！  
あつ

あつ



どこまで  
持ちます  
かね

月詠さんの体あ  
知り尽くしている  
つもりですぜ

誰がぬし  
如きにっ…

調子にっ…  
乗るでない！

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ





はあ

そう言われると  
哭かしたくなる  
性分でしてね

もっとも  
こっちはもう  
哭いてるみてえ  
ですがね

んっ

これしきの  
事で...

いい気に...んっ...  
なりなんしっ!

まさか  
これしきで  
終いだと  
お考えで?

んっ

もじゅ

もみ

はあ

もじゅ

にぢゃ

にぢゃ

くぢゃ

くぢゃ

はあ

はあ

くぢゃ

くぢゃ

くぢゃ

くぢゃ

あっ!

あっ!

ええいっ  
離さぬか!

いつまで  
撫で回せば  
気が済むか!

月詠さんが  
思っている以上に  
あっしはツボを  
心得ていますぜ

あっ!

あっ...  
やめっ...

そこ...あ...  
あっ...やっ...  
やめぬかっ!  
あ!

あっ!



いいですかね  
月詠さん

んんっ！

そろそろ  
イカしち  
まいますよ

どこまでも  
自惚れ……  
おつて……！

ここが  
良いんでしょう？  
イツちまい  
なさいよ  
ホラ！

やめっ……  
あつ

あつ！

ホラ！



んんっ  
……  
!!!

へへ……

オレも辛抱  
たまりま  
せんぜ……

はあ

はあ

はあ







月詠さんの  
中あまるで  
極楽ですぜ

あつ  
はあ



わっちには…  
地獄じゃ…!!

つれない  
ですねえ

千回…

あつ



こんなに  
気持ちいい  
つてのに

はあつ

はあつ

わっちには  
不快なだけ  
じゃ…!!

はあ



良いのは  
ぬしだけ  
じやろう!

はあ

そうです  
かねー?

う…あ…

こっちは  
美味そうに  
啜え込んで  
ますぜ?



あつ

ぬちゅ





まさか…  
ありえぬ…

はあ

こんな下衆に  
好き勝手されて  
いるとゆうのに…

はあ



へへ…

どうしました  
月詠さん

あつ

はあ



もしかして  
あんまり良過ぎて  
憎まれ口も  
叩けませんか？

はあ

…!!  
すまぬな

あまりに  
ぬしの行為が  
退屈でな

はあ

んっ…

呆れて…っ  
言葉が出ぬ  
だけよ…っ！

はあ

はあ





そうゆうのが  
たまんねえん  
ですよ  
中に出しち  
まっても  
いいでしょ？

はあ

はあ

んっ……くっ……  
馬鹿かぬしは！

いいわけが  
なかるうっ！

はあ



ああ やべえ  
こんな早漏じゃ  
まるでガキ  
みてえですわ

あ

たまんねえ  
良すぎますぜ  
月詠さん

あっ

人の話をっ……  
んっ……っ……  
聞か……ぬかつ！

あんっ

やめい……  
こら！

ズッ

ズッ

あっ

ああ もう  
出ますよ  
我慢できねえ

ズッ



はうっ

あっ

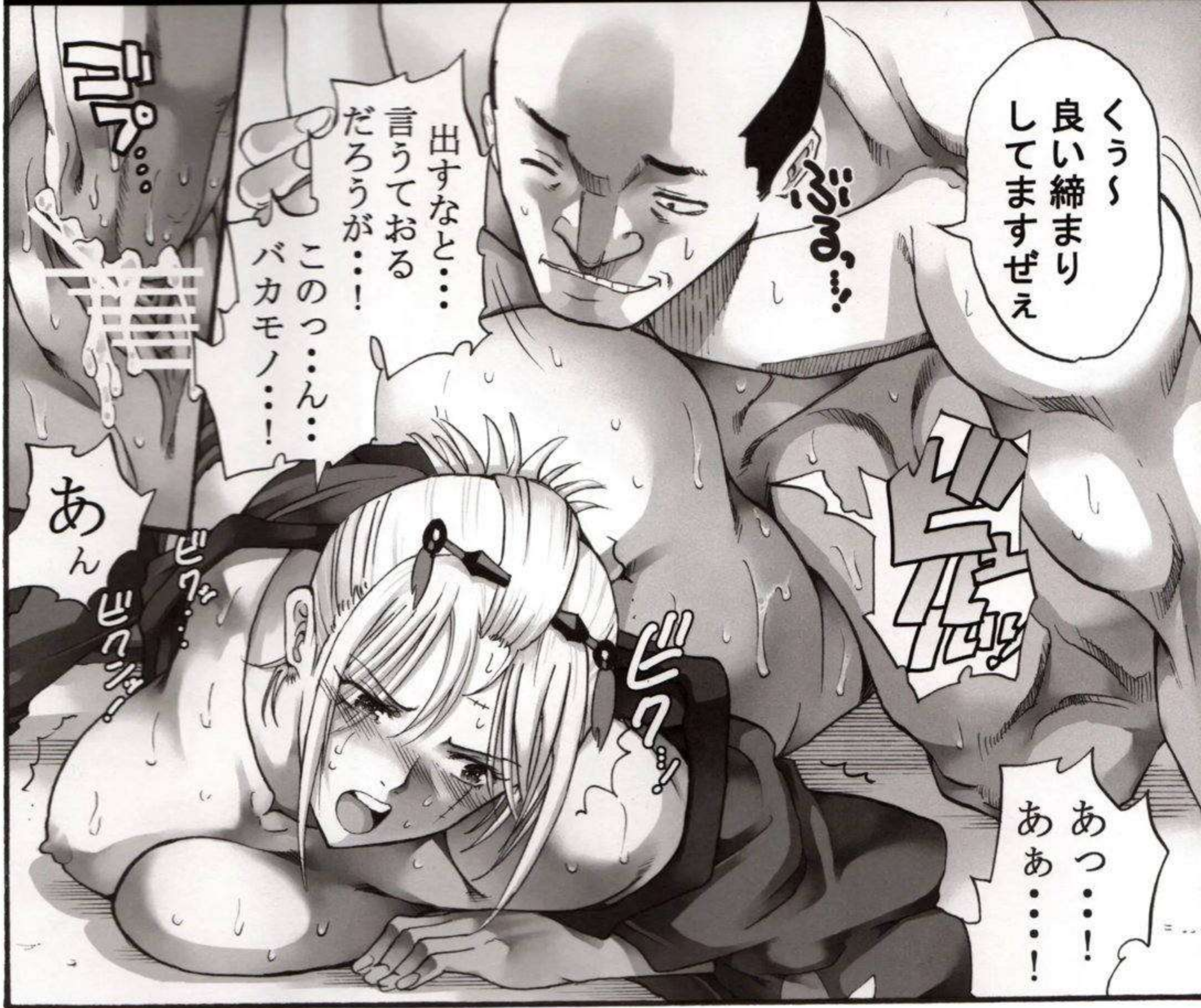
出しちまい  
ますよ  
月詠さん

あんっ

あ……！  
だめ……  
やめい……！

ズッ





くうく  
良い締めり  
してますぜえ

出すなど…  
言うておる  
だろうが…!

このっ…ん…  
バカモノ…!!

あん

あつ…!  
ああ…!!

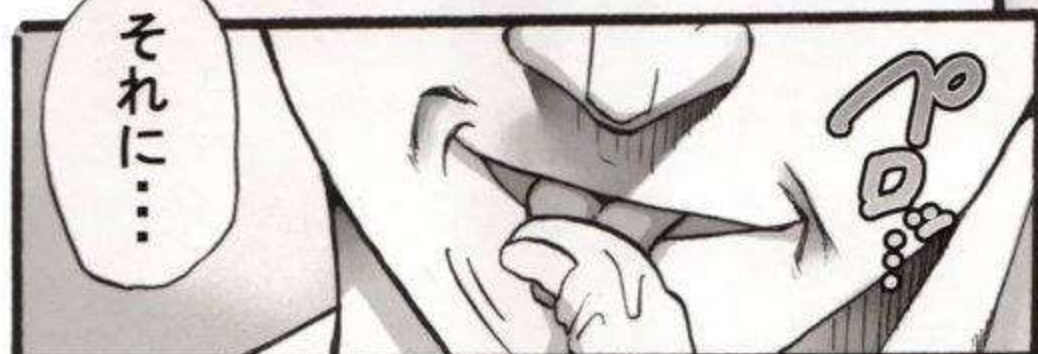


不毛な男  
じゃな…

こんな事を  
しても何も  
変わらぬぞ



…  
…  
…  
言っても  
わかりま  
せんよ



それに…



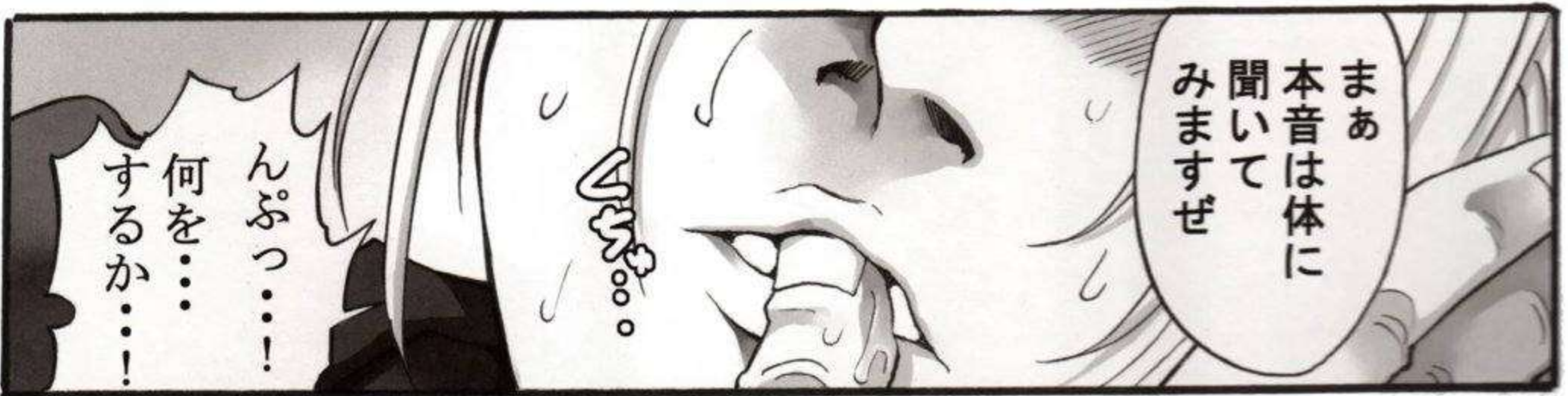
はあ

はあ

はあ

はあ









あ!

あつ  
あん



どうしました?  
あつしのワザが  
たまりませんか?

しばし...っ...  
待たぬか...!

だめじゃ  
待てっ...

あつ

はあ  
ズッ

ズッ

くはっ

はあ

ズッ  
ズッ

あん

ああ

そうでは  
ないが...

あつ

ズッ  
ズッ  
ズッ



なんじゃ...?  
昂ぶりが  
まるで  
収まらぬ...!

あつ

あ

いかな...  
こんな事を...  
このまま  
続けられては  
...!!



あつ...  
んっ...!

んんっ!

へへ...  
凄え...

はあ

はあ

はあ

さつきから  
イツてばかりだ  
月詠さん





可愛い乳首  
おっ起てて  
敏感に反応して  
くれますね  
嬉しい限りでさあ

あ  
もみ

あつ  
む



へへ...

香が回っても  
鋭いですね  
月詠さん



ほざけっ...!  
ぬしの指を  
舐めてから  
何かおかし  
のじゃ...!

あ

はあ

情けない  
男じやな...

はあ

香がなければ  
女も抱けぬか

このっ...  
卑怯者!

指先に何か  
仕込んで  
おったなっ!

はあ

あつ



あつ

こいつは  
墮淫香の濃液  
でしてね

やめ...ろ...!!!

一舐めすれば  
どんな貞淑な女でも  
メスに変えちまう  
シロモンでさあ

あ





へへっ...  
わかるでしょ  
マン汁でお股が  
ぬるぬるですよ

あつ  
んっ...  
この...!

卑しい房術に  
長けている  
如きで...

いい気に  
なりなんし!

大した頑張り  
ですがね

チンポ突っ込まれ  
ながらってのは  
些か滑稽ですぜ



ぬしのような  
下衆にこんな  
辱め...っ...!

イキたくて  
たまんねえって  
顔してますぜ

あつしも  
出しちまい  
そうですぜ

はあ...あつ  
やめっ...

出すな...  
ん...!  
あつ...や...  
やめぬか...!



やつ...あ...  
あ...あつ...  
い...くうっ

あ...!

くうっ  
いい締まり  
してますぜ



あつ……！  
ぬしっ……  
また……んっ……  
出しおったな

はあ

へへっ

中に出されて  
いったでしょ？

満更でもない  
じゃないですか

口惜しいわ……  
んっ……うう……  
こんな……

香さえ  
なければ  
ぬし程度の  
男……っ！

はあ……あ

はあ

歯牙にも……  
かけ……て……  
おらぬわっ……！

はあ

はあ

あつ

かもしれませんが  
こうして今  
あつしと肌を合わせ  
ている事実は  
変えられませんぜ

はあ

はあ

濡れた肌は  
物欲しそうに  
吸い付いて  
きやがる

あつ

下の口は  
嬉しそうに  
啜えて離さねえ

はあ

あつ！

体は喜んで  
いるんじゃない  
ですかねえ

あん





凶星……  
快樂が止まらぬ……  
もつと欲しいと  
求めたいほどに……

はあ  
はあ  
はあ

はあ  
はあ  
はあ

だが悟られては  
ならぬ……  
奴の掌中に墮ちる  
わけにはいかん……!



我慢は体に  
毒ですよ

一緒に愉し  
みましょうや  
せつねえ顔  
してますぜ

……っ！



こんな事……!!

どう……  
……して……  
愉しめる  
ものか……!!

こうして……  
……んっ……く……  
好き……勝手  
犯されて……

屈辱でしか  
ないわっ!

あっ

はあ



くはっ

あっ……!!

へへ……  
体は正直な  
もんですがね

あっ……あん!





わかりますよ  
その強がりも  
精一杯ってとこだ  
んっ！

なっ…  
何を…!?  
このままじゃあ  
どうにかなっちまい  
そうなんでしょう



ぬしっ…  
何を根拠に  
…っ！  
妄言を  
弄すなっ！

お互い香に  
酔っているん  
ですぜ

ヤバイくらい  
出来あがつち  
まってる

あ…

頑張り  
ましたぜ  
はあ

立派に  
意地を通し  
ましたよ

はあ

月詠さんは  
あつしより  
辛えハズだ

んっ…！っ…！

香のせいだ  
月詠さんは  
悪くねえ

でも  
これ以上は  
無理ですぜ

はあ

ホントに  
おかしく  
なっちまう

はあ



誰にも知られねえ  
月詠さんは  
ただ身を任せて  
いただけでさあ

はあ

はあ

はあ

こっから先はもう  
仕方のない事で  
しようよ



ああ……  
そうか……

この男から  
逃れられぬ  
はずだ

こやつはきつと  
初めて出会う  
その以前から

どうりで  
無手のわっちが  
敵わぬわけだ

んん……!!

んふっ……  
ん……ん……  
んっ……!!

綿密に  
今日までの策を  
張り巡らせて  
おったのだろう

んん

!!!

不覚  
ただのチンピラと  
侮っておったわ



へへ…  
月詠さん  
今またイキ  
ましたよね？

ズッ

はあ  
あつ



もう何度  
イツたかも  
わかりませんね

あつ  
あ

あつ

そうじゃ…!!  
悪いかつ  
…!!

ズッ

ズッ

ズッ

あつ!

ズッ

んっ…ぬしに…  
突かれて…っ  
何度も絶頂して  
おるっ…!!

これで…あつ…  
んんっ…あつ…  
満足か…っ!

あん

ズッ

ズッ

ズッ

ああ…  
なんたる…  
なんたる様じゃ…

あ!

はあ…  
止まらぬ…

また…  
イク…っ

んんっ

うっ…

ズッ

ズッ



はあ

いい感じに  
仕上がって  
きてるじゃあ  
ありませんか

あっしも  
出しちまい  
ますぜ

あっ

あっ

ああ...やめい...  
今はだめじゃ!

あっ

ああ...

これ以上は...  
ならぬ...んっ  
あっ...ああ...

やめ...て...  
くれ...っ!

ズン

ズン

ああ

ズン

あんっ

ズン

ズン

あっ

ズン

あっ

そいつあ  
今更でしょうよ  
一緒にイキま  
しょうや

あっ

あんっ  
だめっ...

あっ

出しちまい  
ますぜ!  
味わって  
下せえよ!

やめい!  
やめっ...!

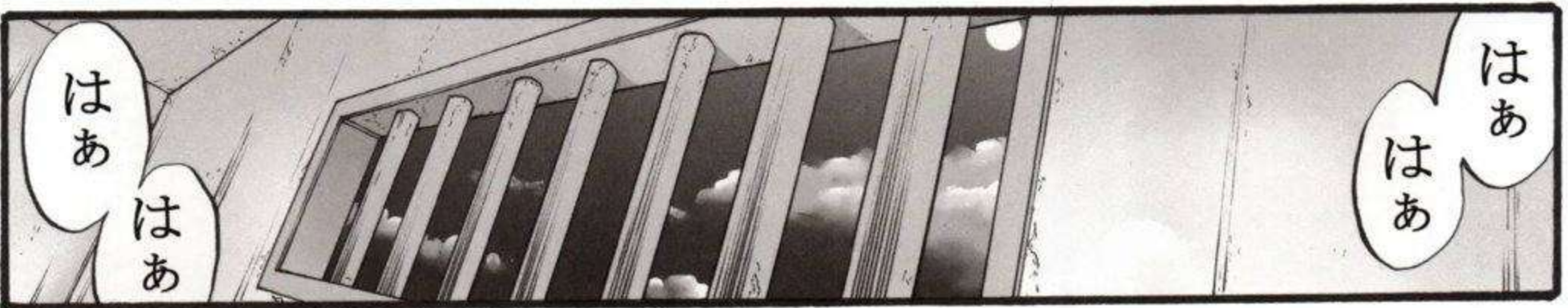
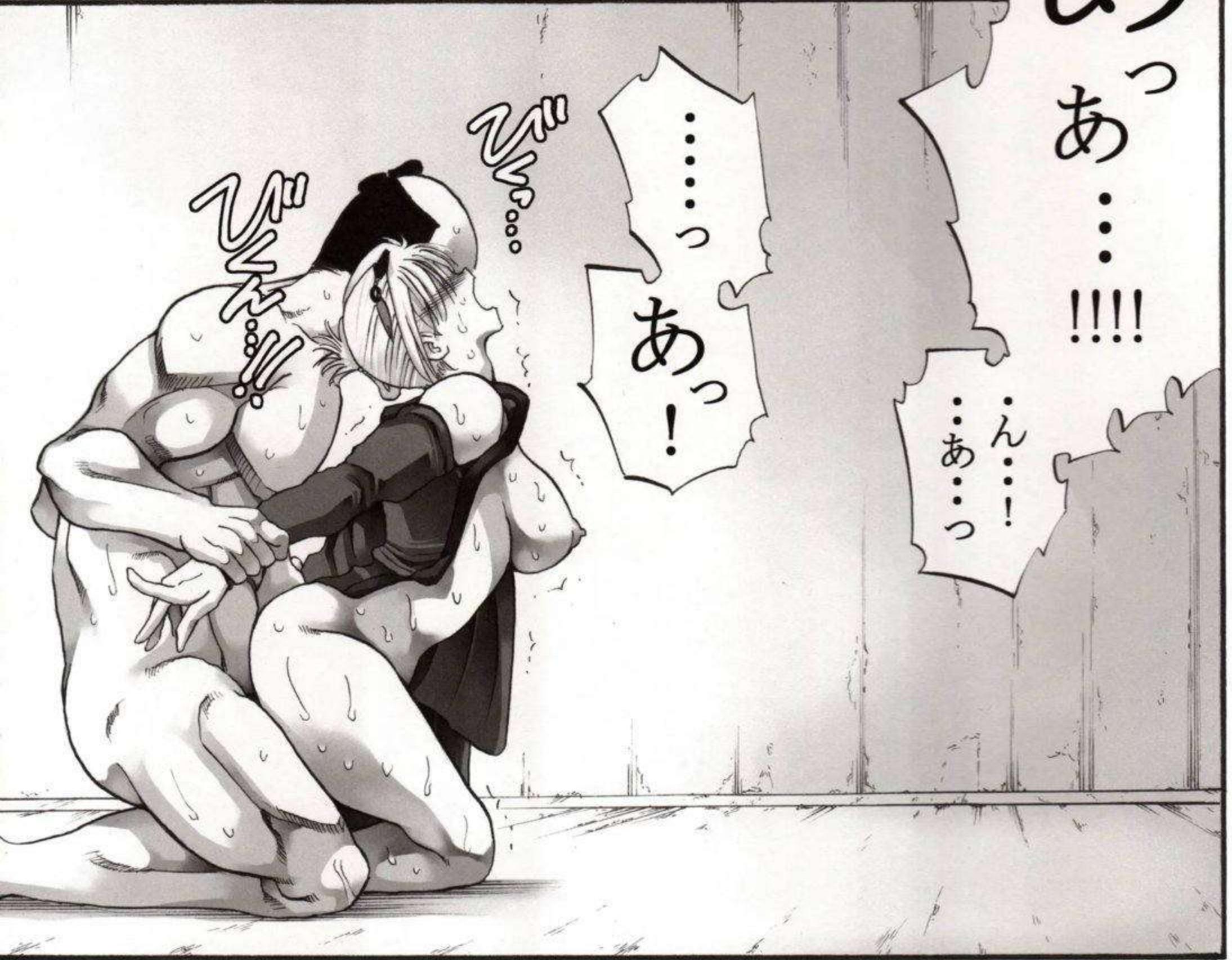




あ  
あっ  
あ……  
!!!!

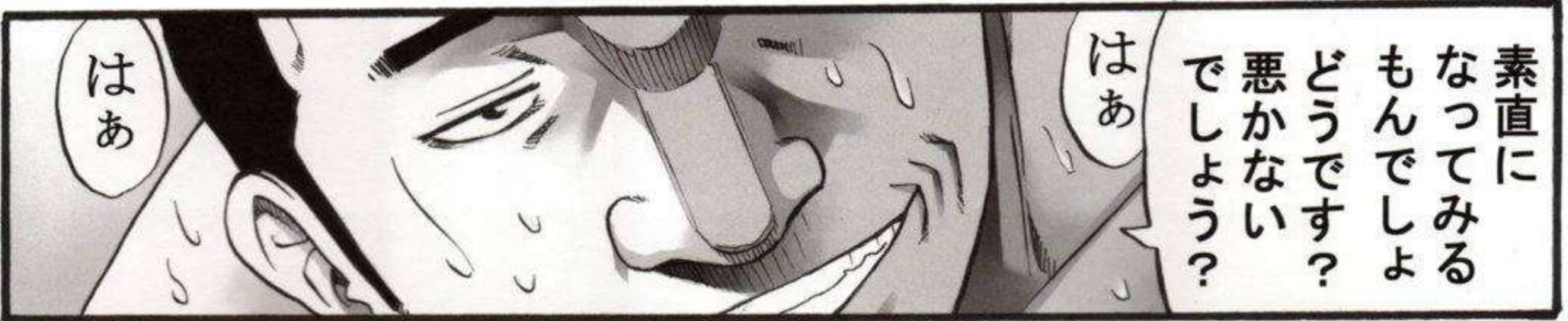
……っ  
あっ  
!

ん……!  
あ……っ



はあ  
はあ

はあ  
はあ



素直に  
なってみる  
もんでしょ  
どうです?  
悪かない  
でしょう?  
はあ

はあ



あん!

あっ! いろいろ  
いく……!

こんなに  
気持ちの  
良い事は他に  
ありませんぜ

あっ!

ああ  
~~~~~  
!!!!
イ……ク……ツ……

あ!

済まぬ
皆……

ああ

わっちはもう
駄目かも
知れぬ……

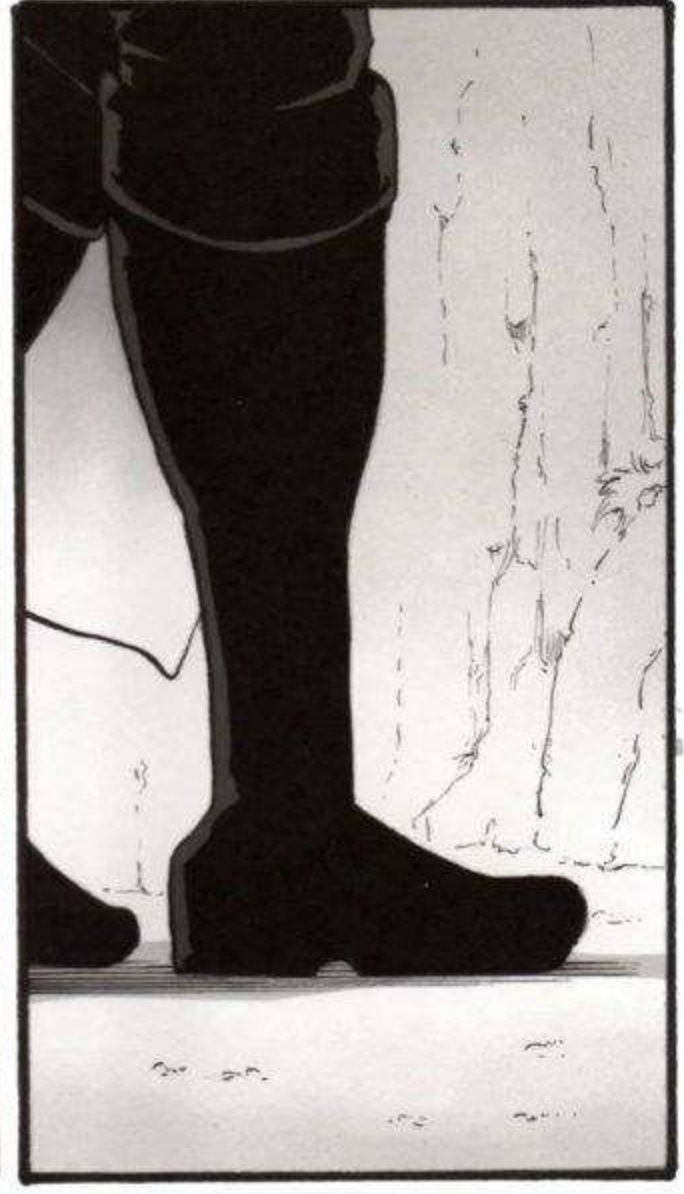
あっ



へえ……
どこにでも
鼻の利く奴あ
いるもんだ

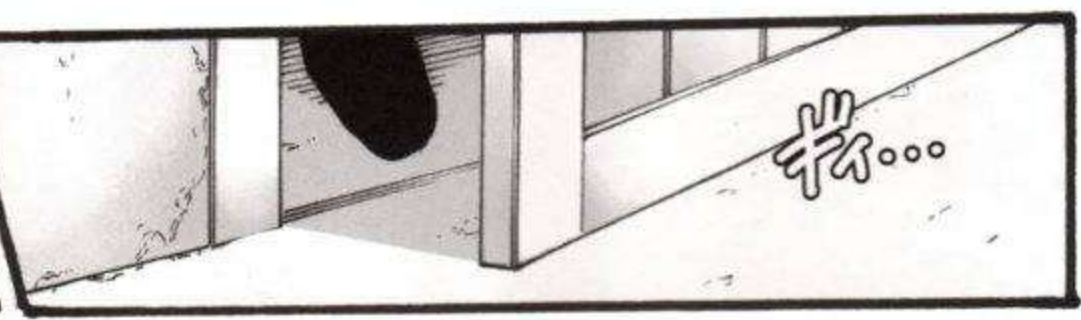
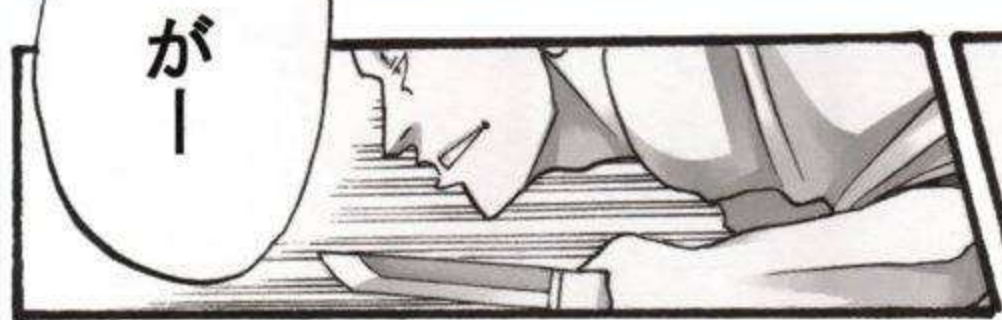


!

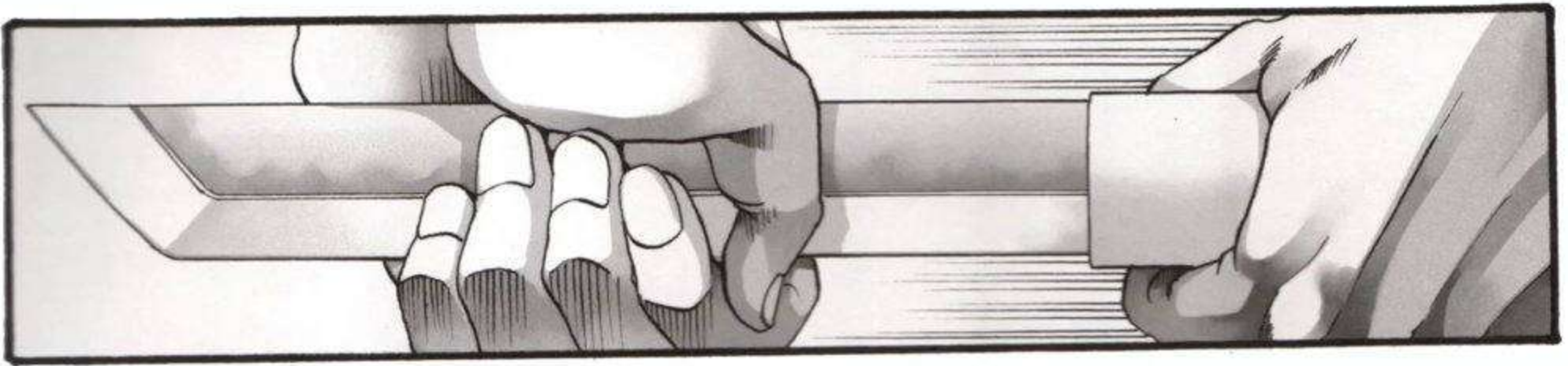


しかも
一人

随分と
肝の太え
野郎だ
がー



そいつあ
無用心が
過ぎらあ!



おいおい

いきなり
刃物たあ物騒な
挨拶じゃねえか



女一人

身請けに
来たぜ



月詠さん
いやらしい事を知
れたい話
さ
れ
て
し
ま
う
話

※18歳未満の購読を禁じます
著 かつおぶし

月詠さん
おしゃべり
が大好き
です

野郎があつた晩
言いやがつたん
ですよ

『おまえが今
仕込んでいる女』

『オレの情婦に
寄せ』

へへ…
気付いたら
殺っちまって
ましたよ

最初はただ
仕込んで売る
つもりだったん
ですがね…

いつの間にか
オレの方が虜に
なっちまってた

相手を
壊してでも
手に入れてえ…

そうゆう
愛し方しか
出来ねえ男
なんでさあ…

わかり
ますかあ…

ねえ…
旦那あ…



わかん
ねーよ



しばし
気を失って
しまったか

だがお陰で
体力はかなり
回復出来た

そして
あの男の気配が
消えている今



まさに
脱出の好機



戻って
来おったな

出入り口は
こゝひとつ

鉢合わせは
避けられぬか



一撃分の
力しか戻って
おらぬが...

賭けるしか
あるまい...!!





相変わらず
危ねえ女だな

まあでも
元気そうで
何よりだ

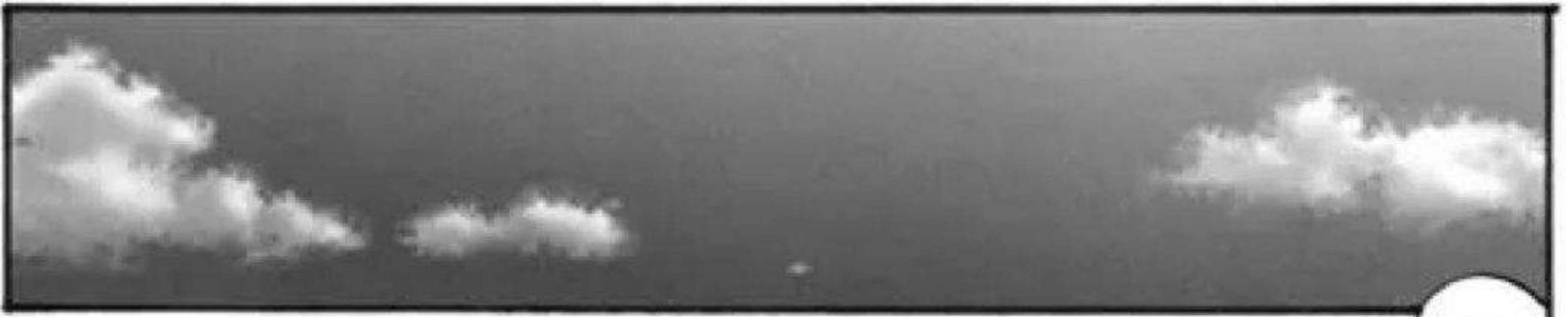


あ……

ああ……



待たせたな



済まぬな
下手を踏んで
しまった



気にすんな
お陰で日輪から
報酬がたんまりだ
これでツケが
払えらあ



！



無理
すんなよ

げし

あ：
……
済まぬ



……仔細は
聞かぬのか？



面倒
くせえな

人間生きてれば
色々あんだろ
話したけりや
聞いてやる
けどよ

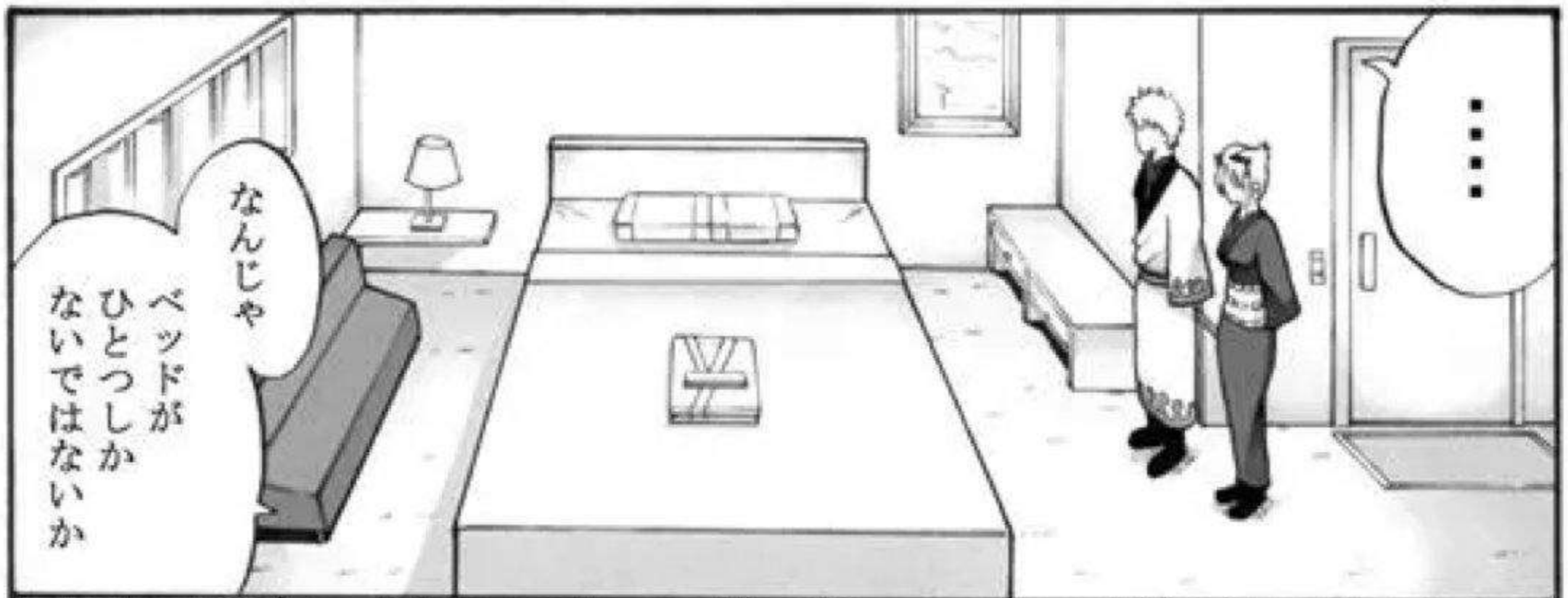
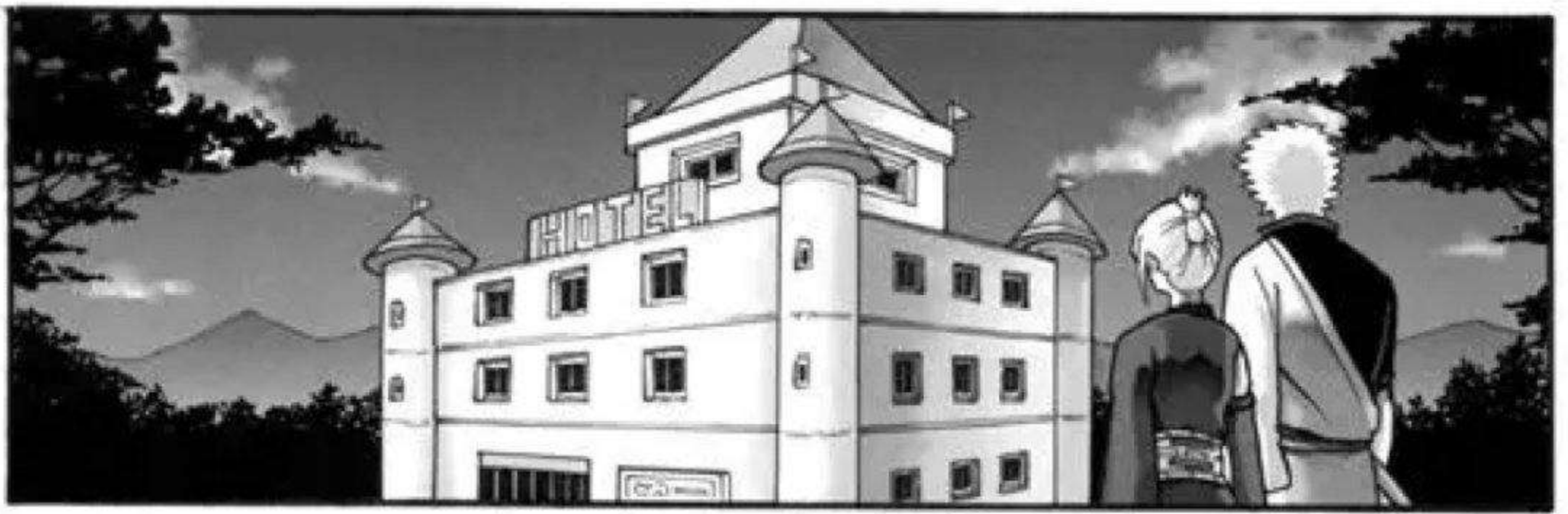


そうか……



！
向こうに
明かりが
見えるぜ
休んで
行くか

ああ
助かる





では
そうすると
しようか

覗くなよ

しっけーな！
眼かねーよ！

全く…

喉が渴いて
きちまった
じゃねーか



はあー
生き返る

もう一睡も
すれば
全快するか

香が抜けるには
まだ当分かかり
そうじゃな…

ん…

ふう…



ガキ

ガキ

なんじゃ？
どうした
銀時？

しばし待て！
今出る！

おい！

待てと
言うておる
だろうが！



なっ…銀時ッ…!?
己が何をしているか
わかっておるのか?

ぬしは
気でも
違ったか…!?

!!



!!!



墮淫香ッ!!!

銀時の阿呆めが
一本空けたのか!
どうりであの様子!
正気が飛んだか!?



しばし待てと
言うておろう!
聞いておるのか!

とりあえず
外に出ろ!
それ以上は
近付くな!



近づくなと！

言うておる
じやろうが！

ゴッ

スッ



ーと
やりたい所じやが
意識の定かでない
こやつでは殺して
しまいかねん：！

しかし
このままでは
.....



あ...あ...
やめい...

おいっ！
ぬし！

どこを触って
おるっ.....

ああ...

やめいと
言うて...

あ...

んっ...!

あっ！

あ...あ...
銀...時...

あつ……
やめぬか
銀時……!

あー!

何を擦り
つけておる!!

まさか
ぬし……

いかん……
わっちもまだ香が
抜けておらん

このまま
流されては
ならぬ……!

だめじやと
言うておる
だろうに……

あつ

はあ

あつ

ちよつと……んつ……
待て……っ!!
当たっておるぞ……

だめじやぞ
それだけは!

だめじや
……!!

だめ……

あ……

あつ
ん……ん……
聞こえて……んつ?
おらぬか……



ああ…
やはり…

んっ…
んっ…
うんっ…

はっ
あっ

はあ

香の効き目が
ぶり返して
きておる

あん

ズキッ

あ…待っ…
待てっ…!!

耐え難い悦楽が
押し寄せて
来よるっ…!!

あ…らっ…
止めよ…!!

あんっ…
…っん…
あ…あっ

こやつが
わっちの中を
蹂躞する度

あっ
はあ

少しは遠慮
せぬか…!!

あっ

あっ
あん



いかぬ…
このままでは

はあ

はあ

はあ

はあ

わっちまでが
性欲の虜に
随ちてしまう



好き勝手して
くれおったな
痴れ者め……

これで
ようやく
正気に……

はあ



あ……あつ
ちと……
待たぬか

あつ……
出っ……んん
ゴッゴッ!

あ

あ
あ
まさか
ぬしっ……

あ
あん

出てるでは
ないかつ……!



まさか
ぬしっ……

やっ……あつ……
銀……時……?



あつ
ゴッゴッ!



やめぬか
銀時……!

ああ……
だめじゃ……

このっ……
バカモノが



まだ
足りぬのか

目を……っ……
覚まさぬか
……!

あつ
あん



こんなにも
力任せに犯され
続けては……

やめい……
と……っ……

あっ
ゴッゴッ
ズンズン

くあっ

あっ はあっ

言ってる……
の……にっ……

ん
あ

こやつ
の女に
なっ
てしま
う
では
ない
か……!



はあ
はあ
はあ

はあ
はあ
はあ

なんと
か
終
わ
っ
た

これ
で
正
気
に……



ああっ……あっ

いった……

はあ
はあ

ああん

まだっ……
出すのか!?

ぼん

はあ……あ……
思いきり……
イツたぞ……

ぼん

はあ
あ

くはっ……
あっ!!!

あ……出て……
るっ……!!

はあ
よう
やっどじゃ

んっ……!!

はあ

はあ

これで
一息……

はあ

もう無理

これ以上は
もう無理
じゃ……!!

んっ
いつ……
くうっ……!!

んん……ん……
また……
イ……ク……!!



はっ
ぶはっ

何をするか！
人を木の洞と
でも思うたか！

これだけ
出せばもう
充…分…

ふー

ふー

ふー



あ！待て！
いかなぞっ！

くちゅ…

いかな…
女に触れ
られただけで
快感が疾る

や…あ…

やめいと…
言うておろうに
あつ…あ…



このままでは
抗いきれぬ

いい加減につ…
せぬか…あ…ん…
あつ…あ…あつ…！

あつ

あ

あつ
あ





おい
成り行きで
抱いておる
とはいえ…

はあ

調子に
乗るで
ないぞ…

あ
あ
あ

はあ



そう言われても
下がスゲー事
なってるぞ

はあ あっ

ぬしのっ…
せいじやぞ…!

どれだけ
犯されたと
思うとるか!

あっ
あん
あ

あっ



もう出そう
なんだけど

中はマズい
よなあ?

はあ

あ
好きに
せいっ!

もう何度も
出されて
おるわっ!



ああ……あつ……
もう……ダメじゃ……
……ああつ……!!

はあつ……
あああつ!!

ズンズン
グン



どうじゃや?
治まった
か……?

はあ
はあ

ああ……
どうにか
な……



翌日

気まずい

この女
さつきから
一言も喋らねえ

昨日の事
根に持ってん
だらうな

どうにか
話しとかねえと
……

あのよお



昨日の事は
忘れろ

わっちも
忘れる

お互い一夜
限りの事じゃ

それと

他言すれば
殺す

お……
おう……



わっちは
弱い

こうして
突き放さねば
誘惑を断てる
自信が無い

うっ……



?
どうした?
足でも
挫いたか?

悪い……
なんかぶり
返して来た……

この……

……っ



いいじゃん
お互い気持ち
良いんだしよ

そう…ゆう…
問題では…ん…
ないわっ…!

はあ

うっ…ん…

ぬしがこれ程
助平だとは…

あつ
思わんかっ
たぞ…!!

はあ

ん?何?
中に欲しく
なっちやった?

あつ

はあ…あつ…

四の五の
言つとらんで
早う…んんっ…
出さぬか…!!

あんっ

あつ

全くっ…
ぬしとゆう
男は…!!

ああ

そんなわけが…
あるか…このっ…

たわけめがっ!!



それから
吉原まで
数日の帰路

思い返すのも
憚られる
旅路となった



あーっ
ほくして
おかねえとよ

あん
わっちは
ええじやろう

あつ
あつ

発情はまるで
止む気配がなく
昼夜を問わず
淫蕩に耽った

ああ

ああ

はあ

これで……
どうじゃ？

そうやって
弄びおって
からに……

あーっ
あーっ
あーっ

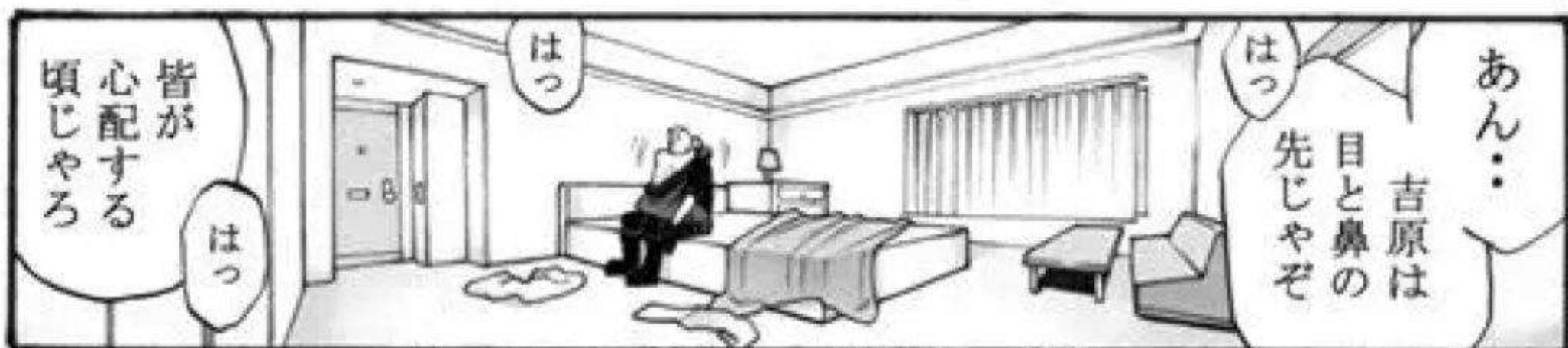
あられもない
痴態を
晒し続けた

はあ……
イ……クっ……!

わっちも

はあ
ああ……ああつ……
ああ……ああつ……!

あーっ
あーっ
あーっ



あん…

吉原は
目と鼻の
先じやぞ

はっ

はっ

皆が
心配する
頃じやろ

はっ



それよりも
ホラ…

な？



もう…

こんな事
してる場合では
なからう…

あ

少しばかり
手間どった事に
すればいいだろ

おまえは真面目
過ぎるんだよ

めっちゃ

めっちゃ

おっ

あっ

はあ



しょうのない
奴じやな…

おっ

ん…
そうじやな

んっ



ふう…

ん!

ドゥ
ドゥ
ドゥ



あ！
やっ……こら！
何をするか！

変な事を……
覚えさせ
おつて……！

でも
気持ち
いいだろ？

う……

う……む……

悪くは……
ない……

あつ

や
あつ



随分と
素直になった
じゃねーの
茶化すな
ぬしのせい
じゃろ……

喜んでいいぜ
褒めてんだ
からよ

嬉しく
ないわ……

はあ



やべ出そう
中に出して
いい？

あつ……ん……
ダメと言っても
出すのじゃろ……

はあ
はあ
はあ

はあ
はあ

そんな事
ねーよ

なら……

ダメじゃ……嫌だね

ダメ……

あ……



あっ

あ...

ん...あ...
出てる...

フル...

フル...

もう...
入らぬぞ...

んん...

これ以上は
無理じゃ...



吉原に
戻ったわっちは
日輪と晴太と
平穏な日々を
暮らせるまで
快復した

ただひとつ
変わった事は
あるが—

なあーにしに
来てんだよ

オレは
おまえに
用はねーぞ

おまえが
用はなくとも
こちらにはあるわ

吉原各所の飲み屋から
ツケの請求が
山と来ておるんじや
今日こそは耳を揃えて
払ってもらおうぞ

それと
な……

この手は
なんじや？

んん？
なんだろうな

昼間から
何を考えて
おるか

大丈夫だって
暫くは誰も
来ねーから

何が大丈夫じや
こらっ：
やめぬか：

あ♡

それは
人には言えぬ
ような事じや



後書き

どうも、ホリエです。

長々と続いたシリーズもこれでひとまず終わりです。長い間お付き合い頂きましてありがとうございました。これも偏に原作が超ロングランしてくれてるお陰でしょう(にや)

一応サークル活動的に一段落ついて次何すんのかって話なんですが、NTR同人を謳いながらも今回の最後が腹ポテエンド出来なかったのは描いてる途中で「これ、綺麗に終わらせれば次はもっとドエロいの描けるやんけ」と思いついてしまったからなのです。

ところがだからといって次にそれを描くのかと問われれば微妙な所です。行政からのいろんな規制でエロ同人やっていくのが年々難しくなっているのが業界の実情なのです。

同人活動自体は続けるのですが、二次創作なのかオリジナルなのかとゆう部分でちょっと考えないといけないなあって思っていたりします。

何はともあれ今後も細々と描いて行きますので見掛けた折には今までと変わらぬご愛顧を宜しくお願いします。それでは。

奥付

月詠さんがいやらしい事をされてしまう話5

発効日 2015年7月20日 発行 かつおぶし 著者 ホリエ 印刷 上野印刷所
HPURL <http://horihorihori.blog.so-net.ne.jp/>
メールアドレス horieug@jn3.so-net.ne.jp